

---

# 吹田市 新たな障がい福祉計画・障がい児福祉計画等の策定に向けたアンケート調査

---

— 調査結果（令和2年11月時点速報版） —

令和2年(2020年)11月

吹 田 市

## 目 次

調査方法と回収状況	1
主な調査結果	2
1 回答者（対象者本人・家族）の属性	2
2 医療に関する状況	8
3 生活環境に関する状況	10
4 今後の生活に関する考え方	11
5 日常生活の状況	14
6 療育・発達支援に関する状況	18
7 仕事の状況と意識	21
8 情報の入手や相談支援に関する状況	26
9 福祉サービスの利用状況と今後の意向	37
10 災害など緊急時の対応	46

## 調査方法と回収状況

平成30年(2018年)3月に策定した「第5期吹田市障がい福祉計画」及び「第1期吹田市障がい児福祉計画」の改定に向けて、障がいのある方々の日頃の生活のご様子、福祉サービス等のあり方に対するお考えや利用意向を把握し、今後の施策立案に必要な資料を得るために、アンケート調査を実施しました。

### 調査の方法と回収状況、回答者の主な属性

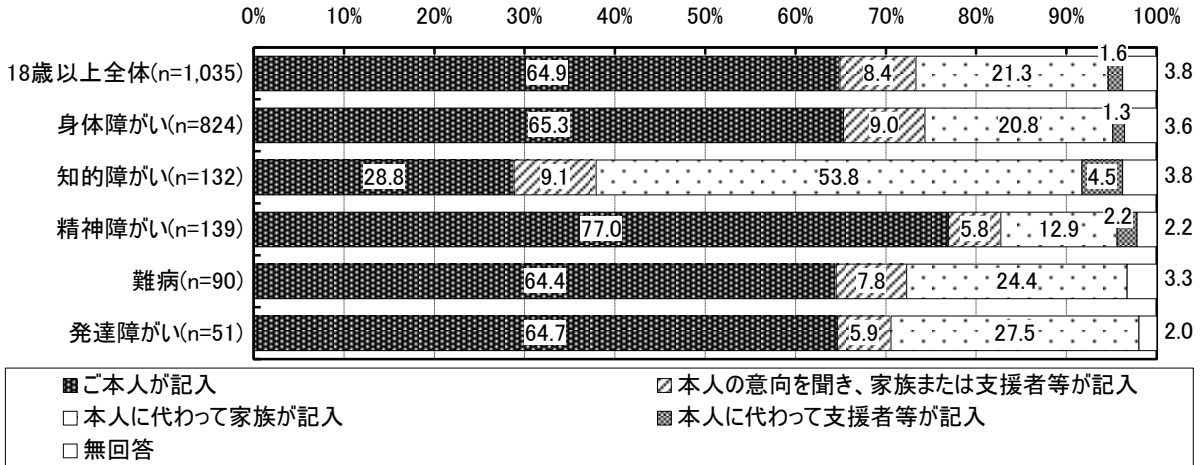
調査対象	18歳以上：令和2年(2020年)6月現在、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの18歳以上の方の中から無作為抽出 18歳未満：令和2年(2020年)6月現在、通所受給者証をお持ちの18歳未満の方の中から、無作為抽出
調査方法	郵送による配付・回収
調査期間	令和2年(2020年)6～7月
回収状況	配布数：18歳以上 2,000件／18歳未満 300件 有効回収数： “ 1,035件／ “ 169件 有効回収率： “ 51.8％／ “ 56.3％

- ※ アンケート調査結果の各設問の母数n (Number of caseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味します。
- ※ 各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。
- ※ グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。
- ※ 属性別クロス集計のグラフ・集計表には、属性が無回答であったサンプルの集計結果を割愛しています。

# 主な調査結果

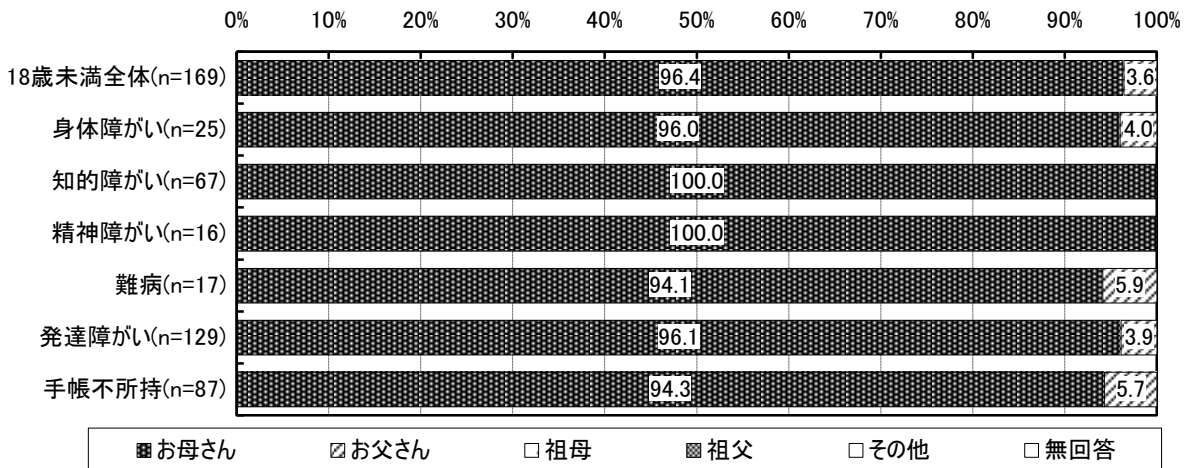
## 1 回答者（対象者本人・家族）の属性

◆この調査票を記入した人はどなたですか。



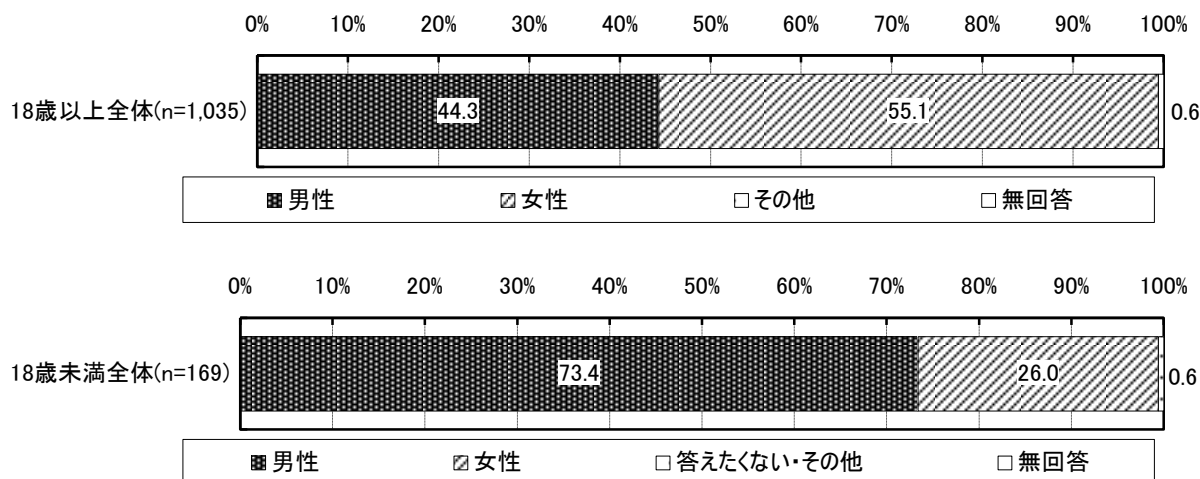
・18歳以上では本人による回答が64.9%を占めていますが、知的障がいでは家族が53.8%を占めています。

◆この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さん（ご本人）からみたあなたの続柄を教えてください。

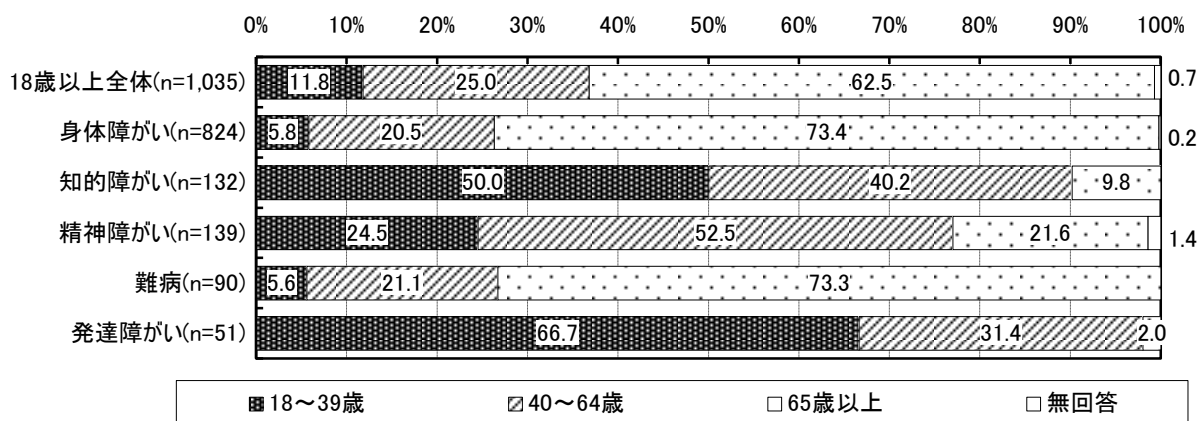


・18歳未満ではお母さんによる回答が96.4%を占めています。

◆あなた（お子さん（ご本人））の性別を教えてください。

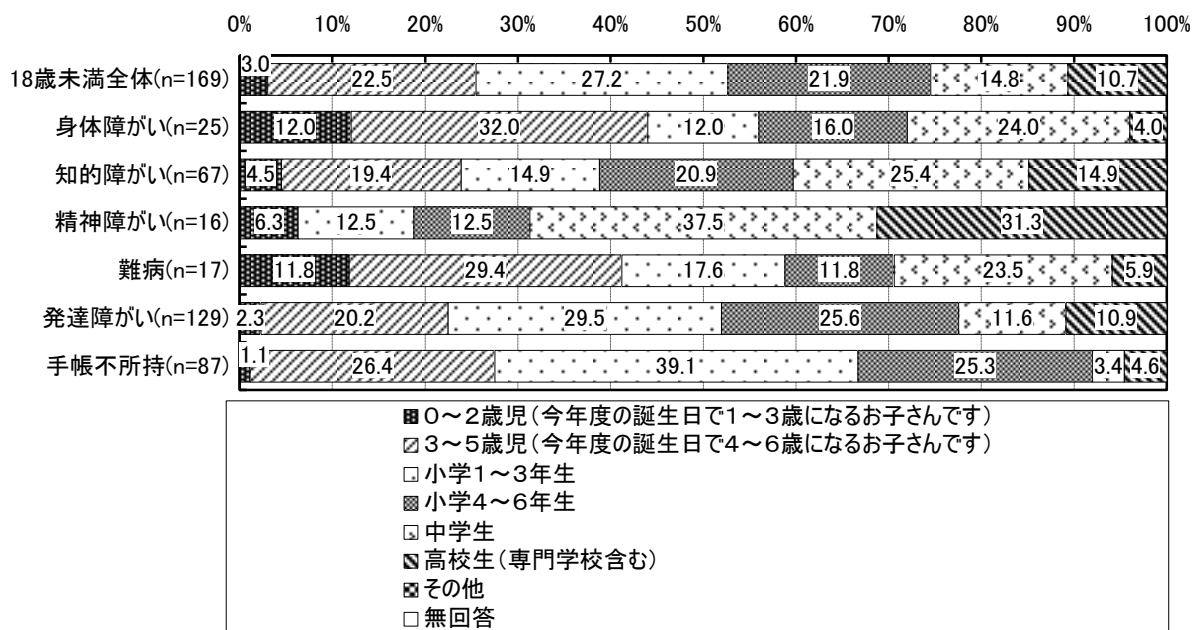


◆あなたの年齢を教えてください。



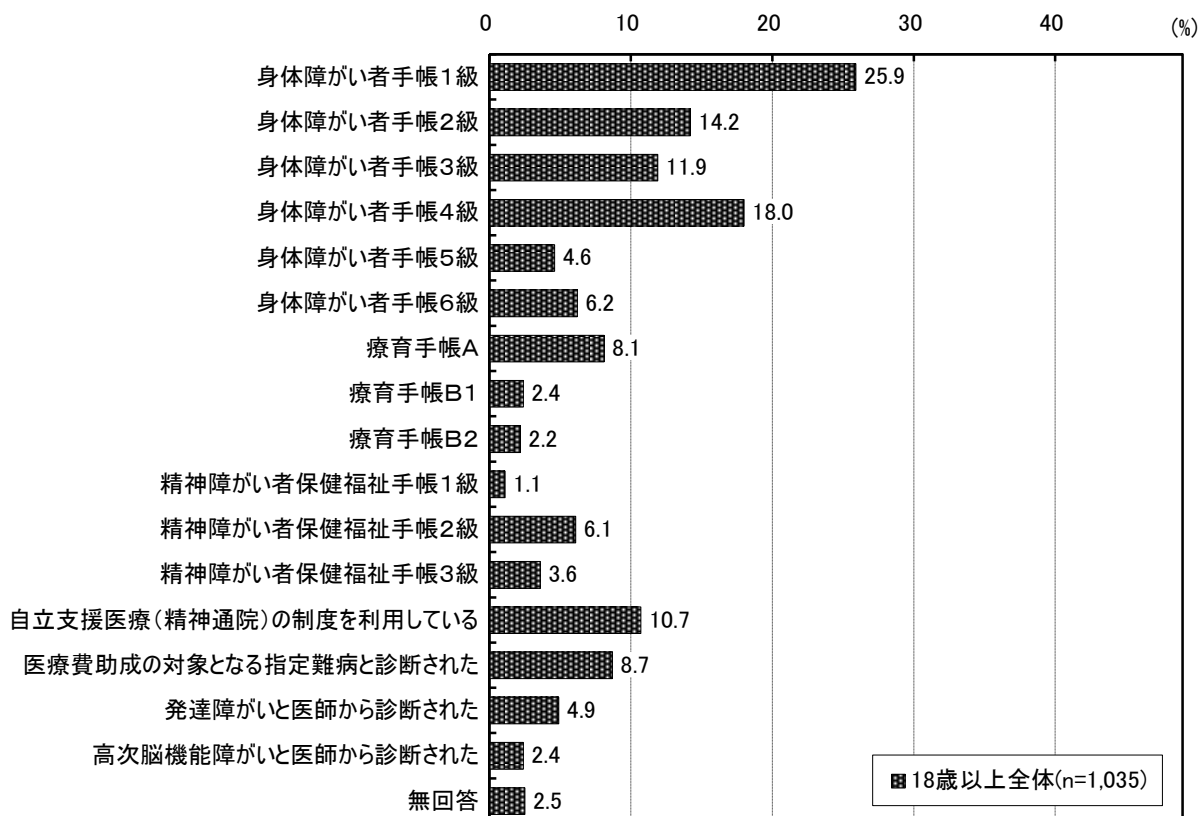
- ・ 18歳以上では、65歳以上が62.5%、なかでも難病患者では73.3%を占めています。
- ・ 知的障がいでは、18~39歳が50.0%、40~64歳が40.2%となっています。

◆お子さん（ご本人）の学年（年齢）を教えてください。

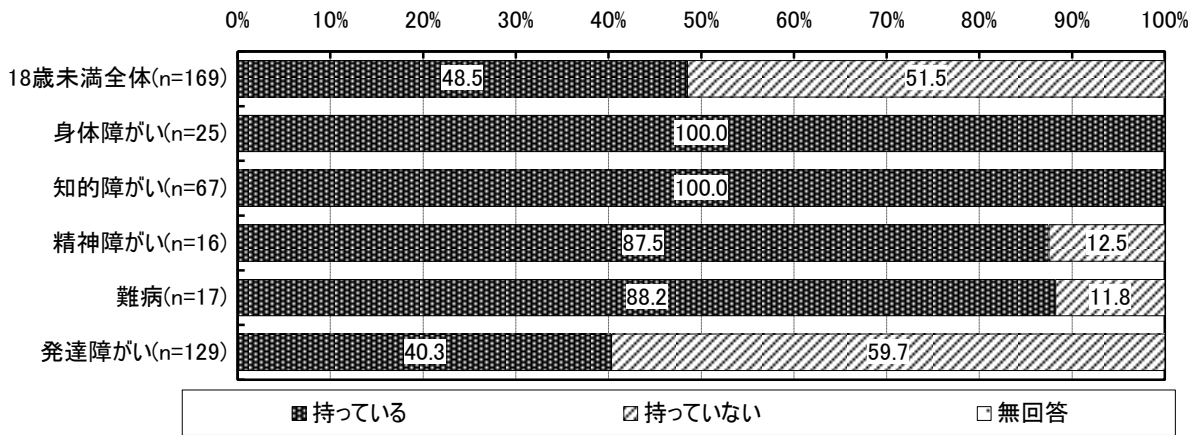


・18歳未満では、小学1～3年生が27.2%、3～5歳が22.5%、小学4～6年生が21.9%となっています。

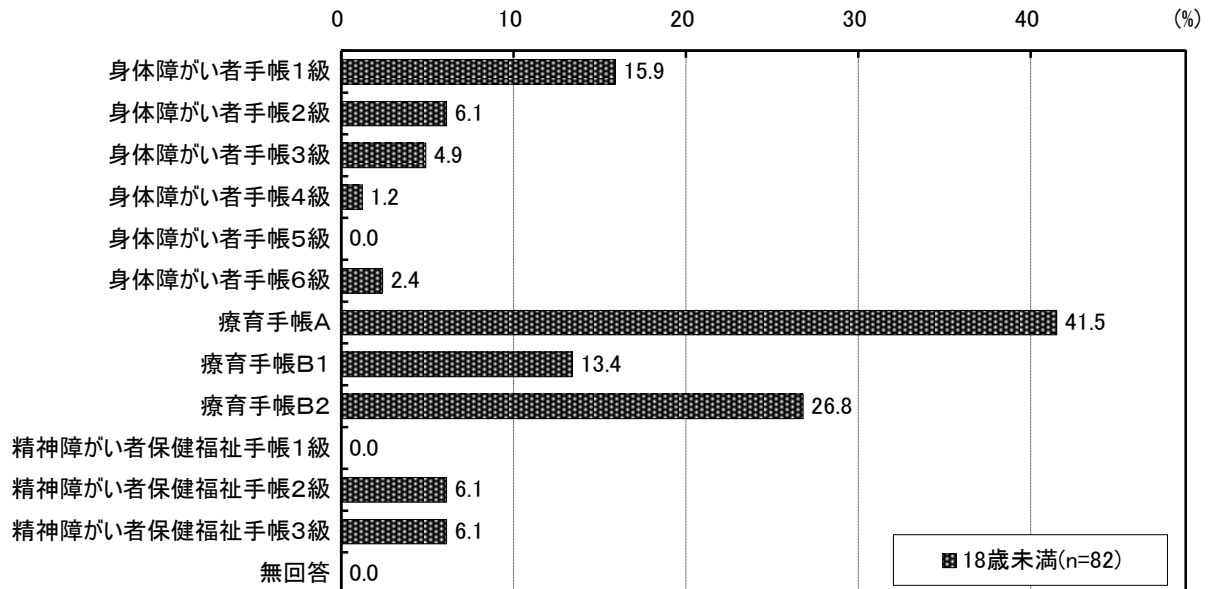
◆障がい者手帳を持っている人は等級を教えてください。また、指定難病、発達障がいや高次脳機能障がいの診断について、教えてください。



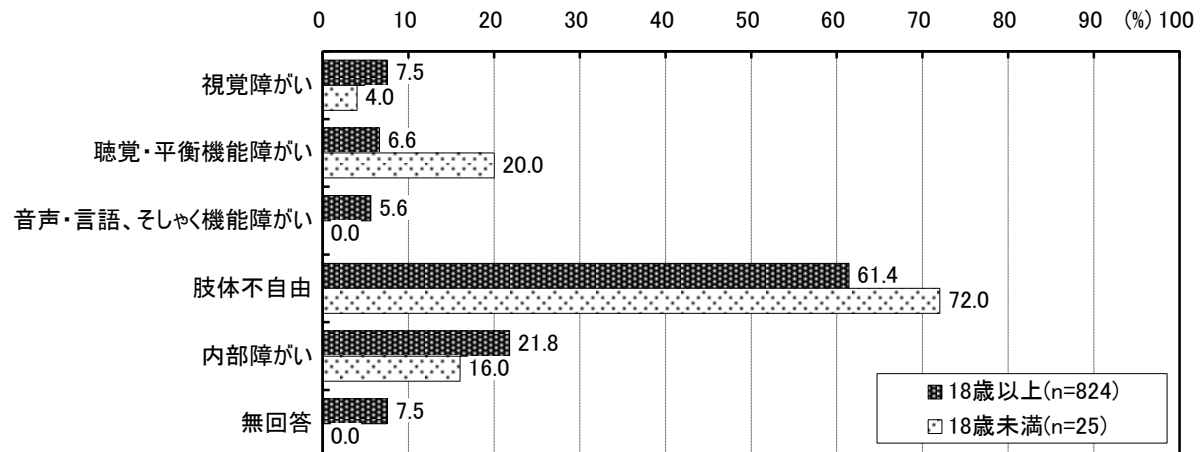
◆障がい者手帳を持っていますか。



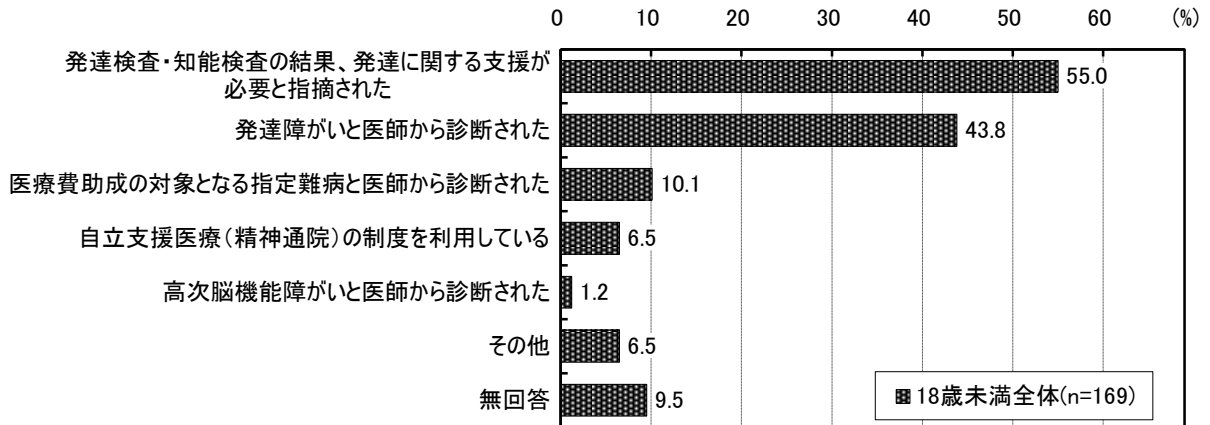
◆障がい者手帳を持っている人は等級を教えてください。



◆身体障がい者手帳をお持ちの人は、障がいの種類を教えてください。

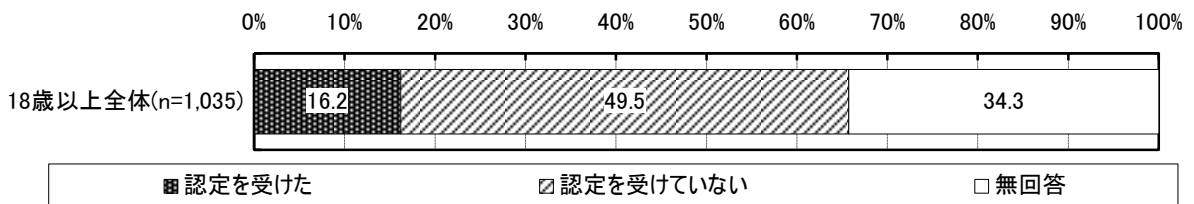


◆指定難病、発達障がいや高次脳機能障がいの診断などについて、教えてください。



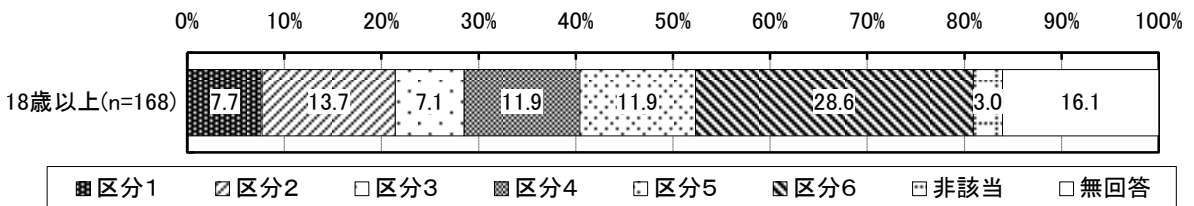
・「発達検査・知能検査の結果、発達に関する支援が必要と指摘された」が55.0%と最も多く、次いで「発達障がいと医師から診断された」が43.8%となっています

◆障害支援区分の認定を受けていますか。



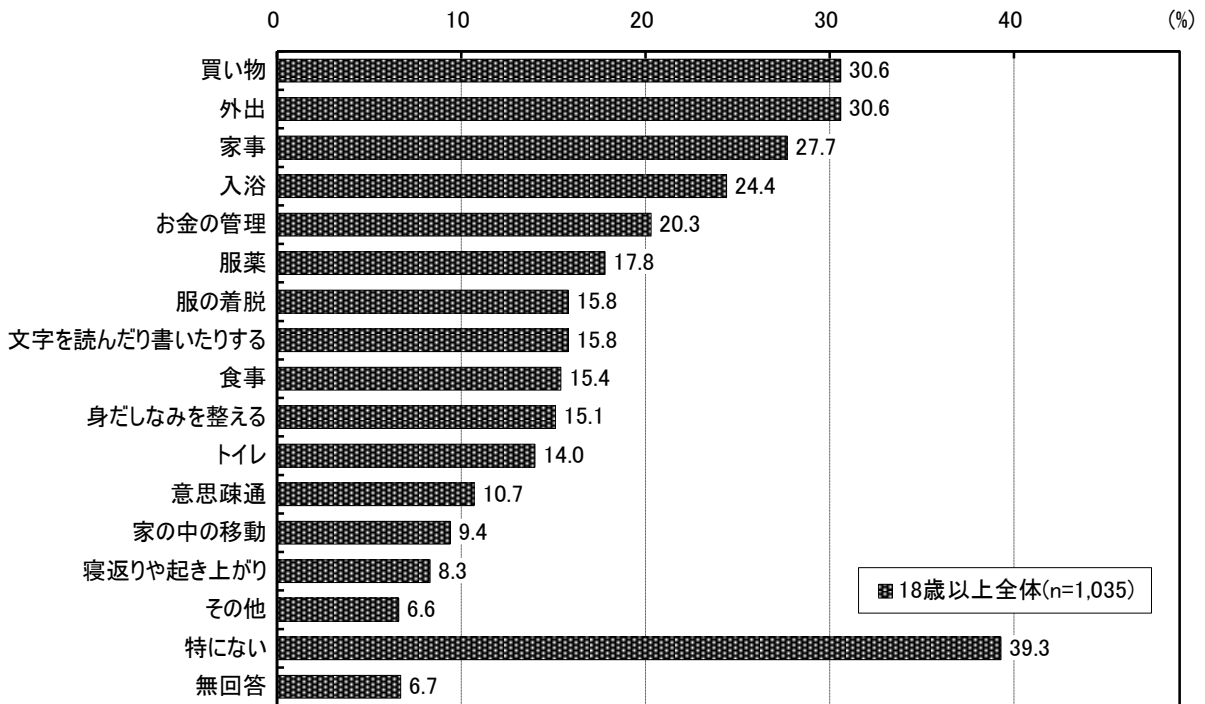
・認定を受けている人は、18歳以上の16.2%となっています

◆また、受けた人は、どの区分で認定を受けていますか。



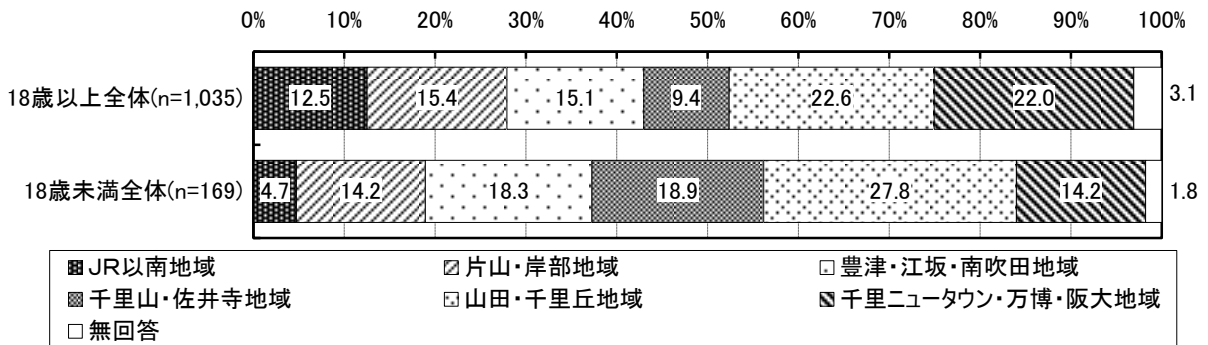


◆現在の生活で、必要な支援は何ですか。

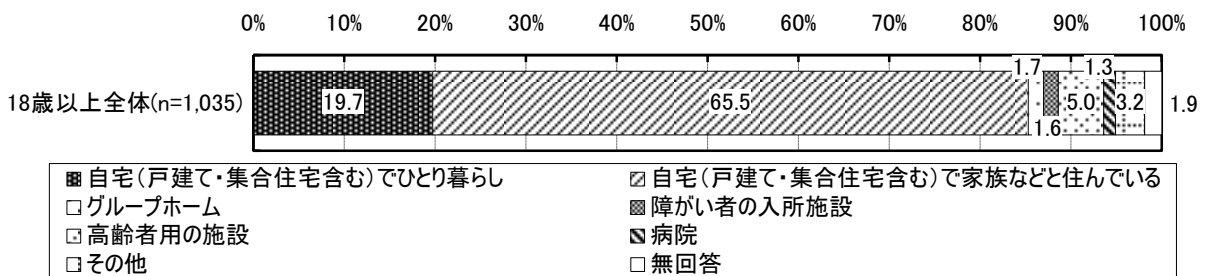


・「買い物」と「外出」が30.6%と最も多く、次いで「家事」が27.7%、「入浴」が24.4%、「お金の管理」が20.3%などとなっています。

◆あなた（お子さん（ご本人））がお住まいの地域はどこですか。



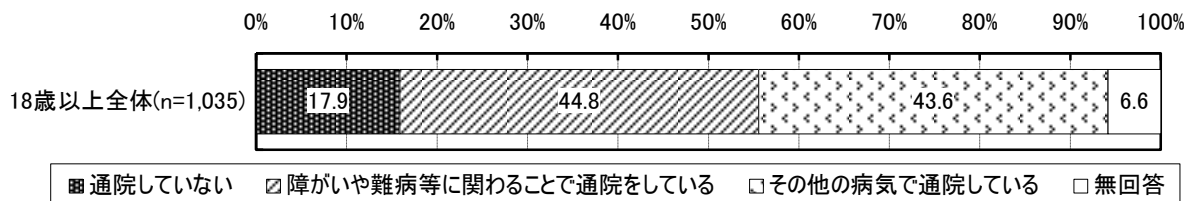
◆あなたはどのようなところで暮らしていますか。



・「自宅で家族などと住んでいる」が65.5%、「自宅でひとり暮らし」が19.7%となっています。

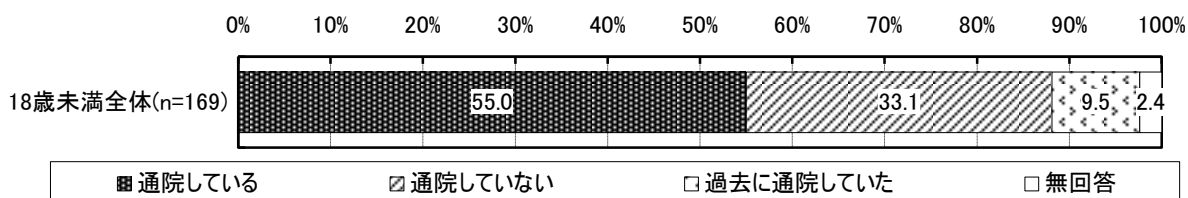
## 2 医療に関する状況

### ◆現在、病院に通院していますか。



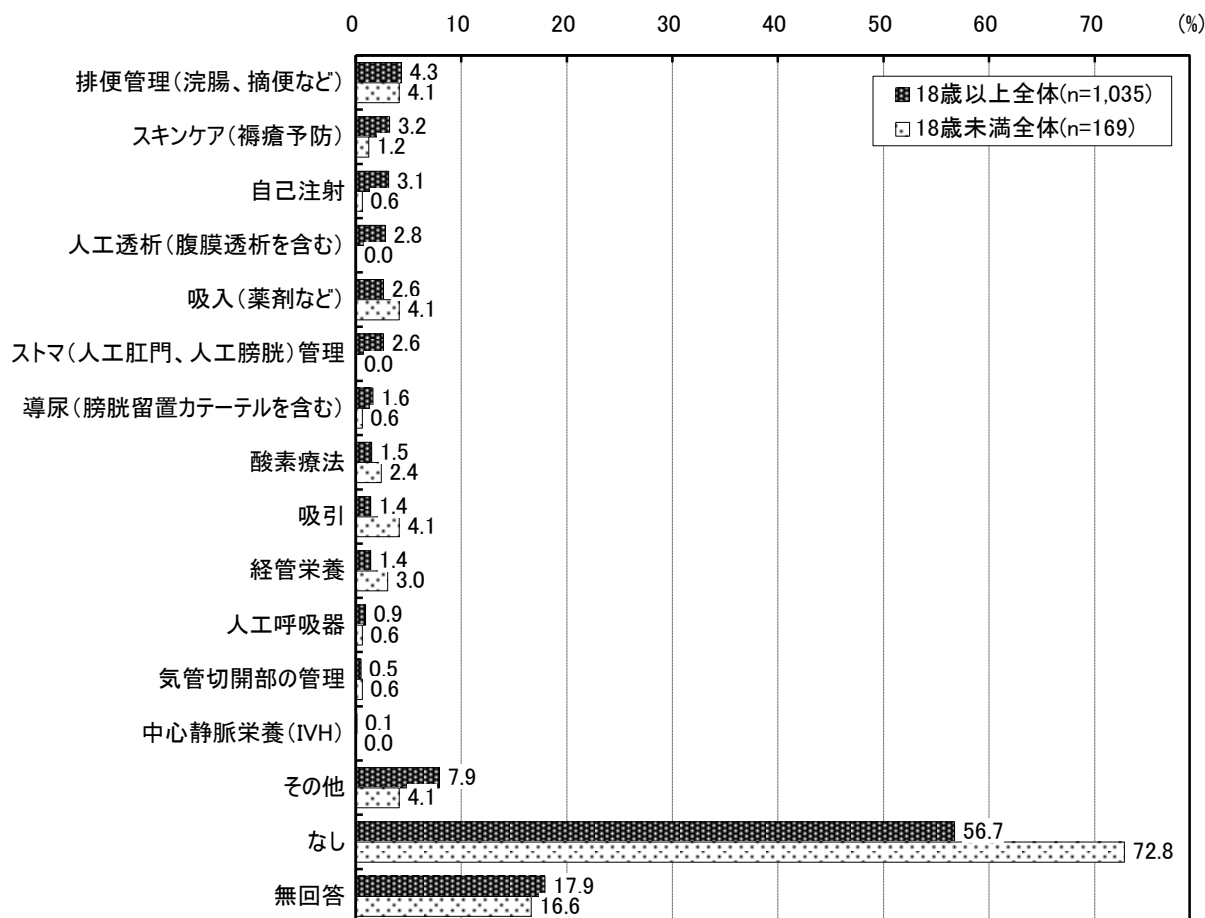
- ・18歳以上で病院に通院している人は、「障がいや難病等に関わることで通院をしている」が44.8%、「その他の病気で通院している」が43.6%となっています。

### ◆お子さん（ご本人）の発達や障がいの関係で、通院していますか。



- ・18歳未満で通院している人は55.0%となっています。

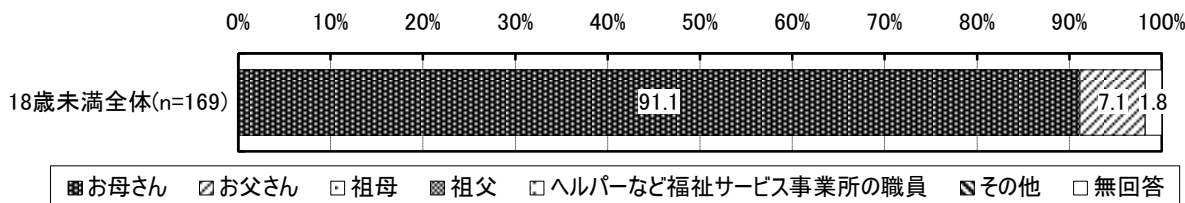
◆自宅で日常的に行っている医療的ケアはありますか。



- ・ 18歳以上のうち25.4%の人が何らかの医療的ケアを必要としており、内容別には「排便管理（浣腸、摘便など）」が4.3%、「スキンケア（褥瘡予防）」が3.2%となっています。
- ・ 18歳未満のうち10.7%の人が何らかの医療的ケアを必要としており、内容別には「吸引」、「吸入（薬剤など）」、「排便管理（浣腸、摘便など）」、「その他」がそれぞれ4.1%となっています。

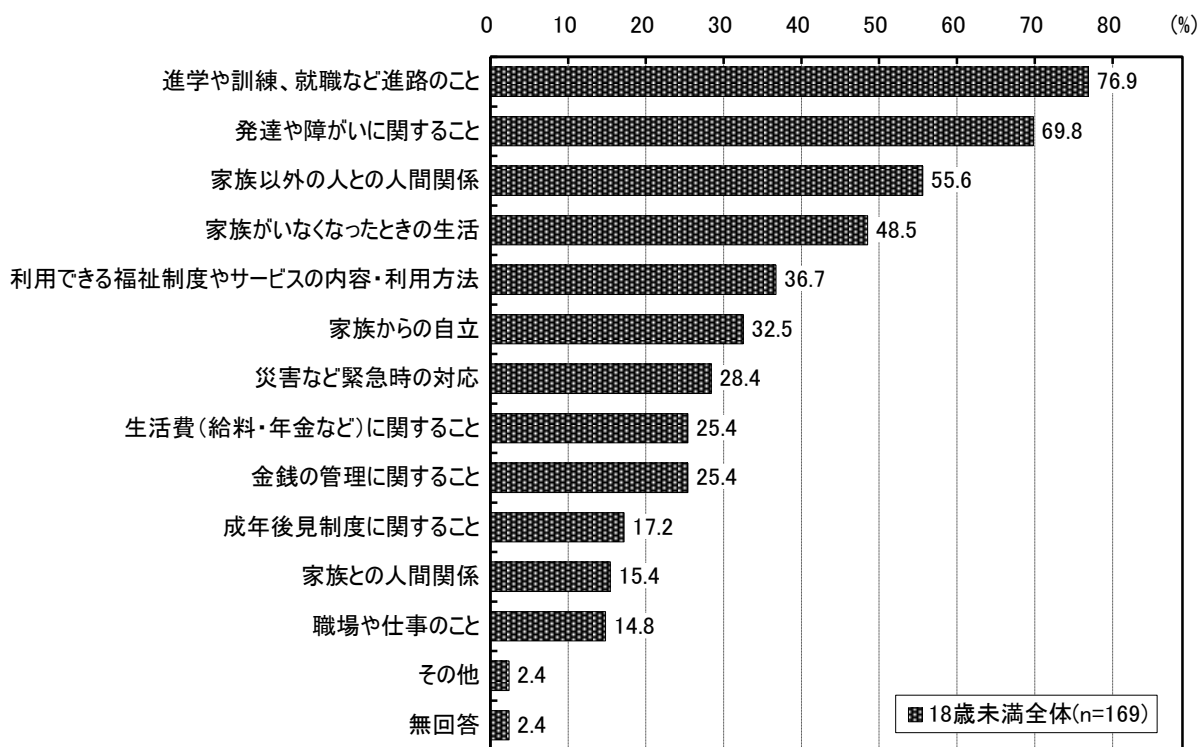
### 3 生活環境に関する状況

◆お子さん（ご本人）を主に養育しているのはどなたですか。



・18歳未満では、お母さんが91.1%を占めています。

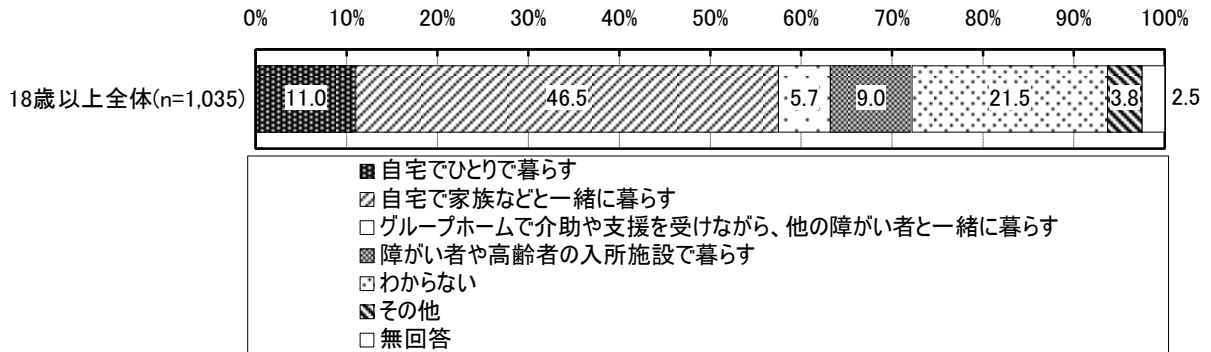
◆今、お子さん（ご本人）のことで、気にかかっていることはどのようなことですか。



・「進学や訓練、就職など進路のこと」が76.9%と最も多く、次いで「発達や障がいに関すること」が69.8%、「家族以外の人との人間関係」が55.6%、「家族がいなくなったときの生活」が48.5%、「利用できる福祉制度やサービスの内容・利用方法」が36.7%、「家族からの自立」が32.5%の順となっています。

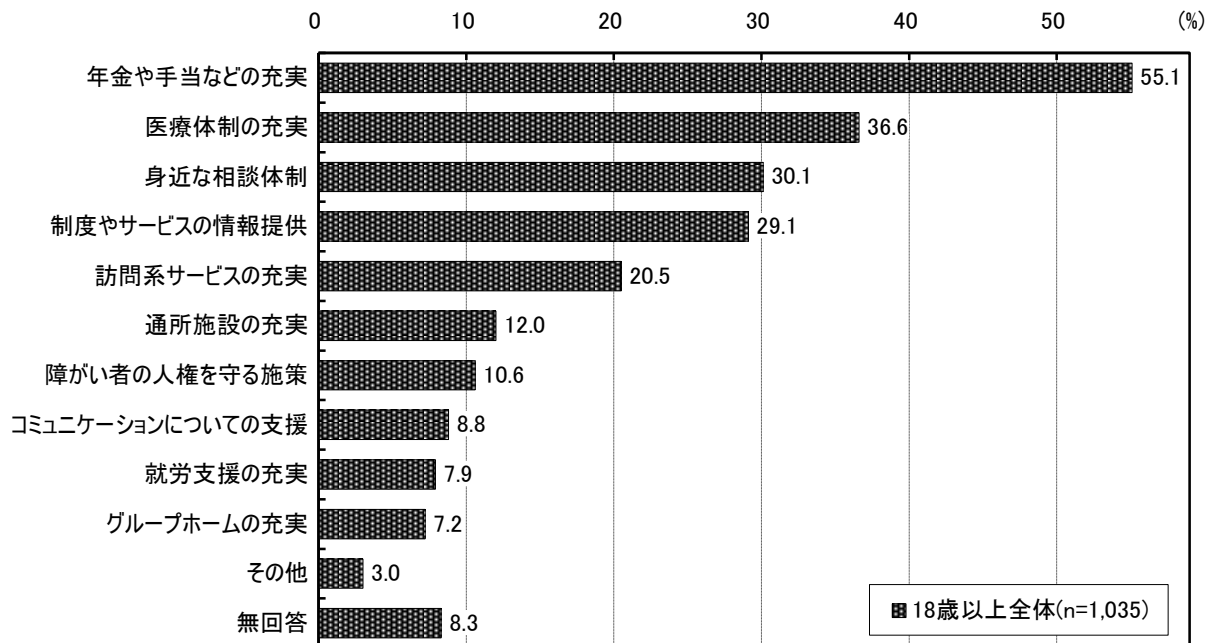
## 4 今後の生活に対する考え方

◆あなたは、10年後に、どのような暮らし方をしたいですか。



・「自宅で家族などと一緒に暮らす」が46.5%、「自宅でひとりで暮らす」が11.0%、「障がい者や高齢者の入所施設で暮らす」が9.0%、「グループホームで介助や支援を受けながら、他の障がい者と一緒に暮らす」が5.7%となっています。

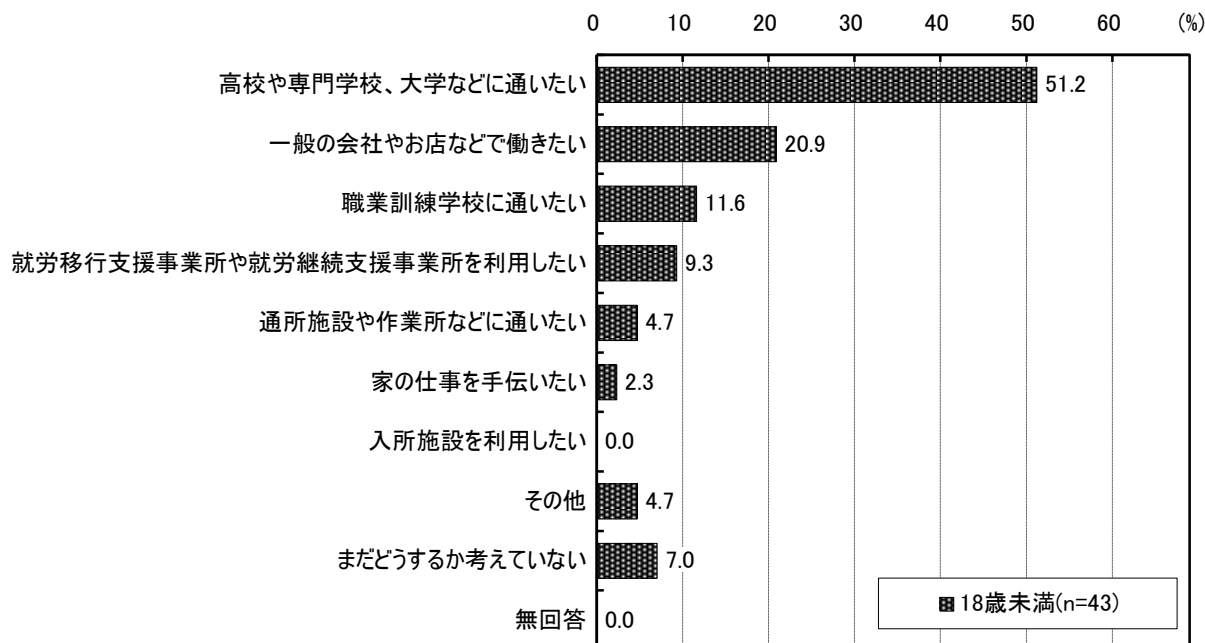
◆あなたの希望する暮らし方を実現するために、必要なことは何ですか。



・「年金や手当などの充実」が55.1%と最も多く、次いで「医療体制の充実」が36.6%、「身近な相談体制」が30.1%、「制度やサービスの情報提供」が29.1%の順となっています。

◆お子さん（ご本人）は卒業後の進路をどのように考えていますか。

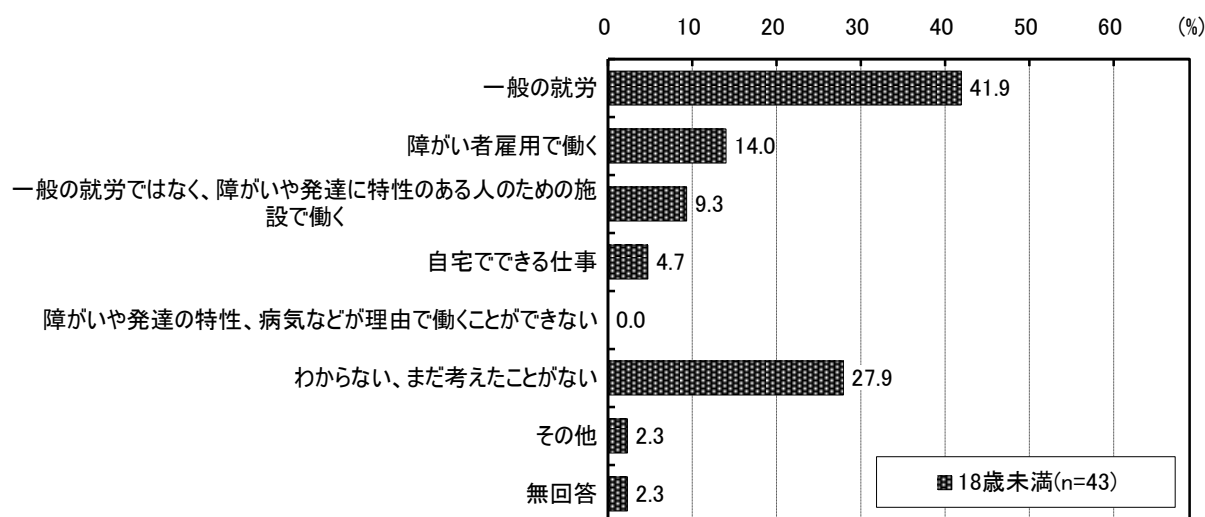
（お子さん（本人）が「中学生」又は「高校生」と回答した方への設問）



・「高校や専門学校、大学などに通いたい」が51.2%と多く、次いで「一般の会社やお店などで働きたい」が20.9%となっています。

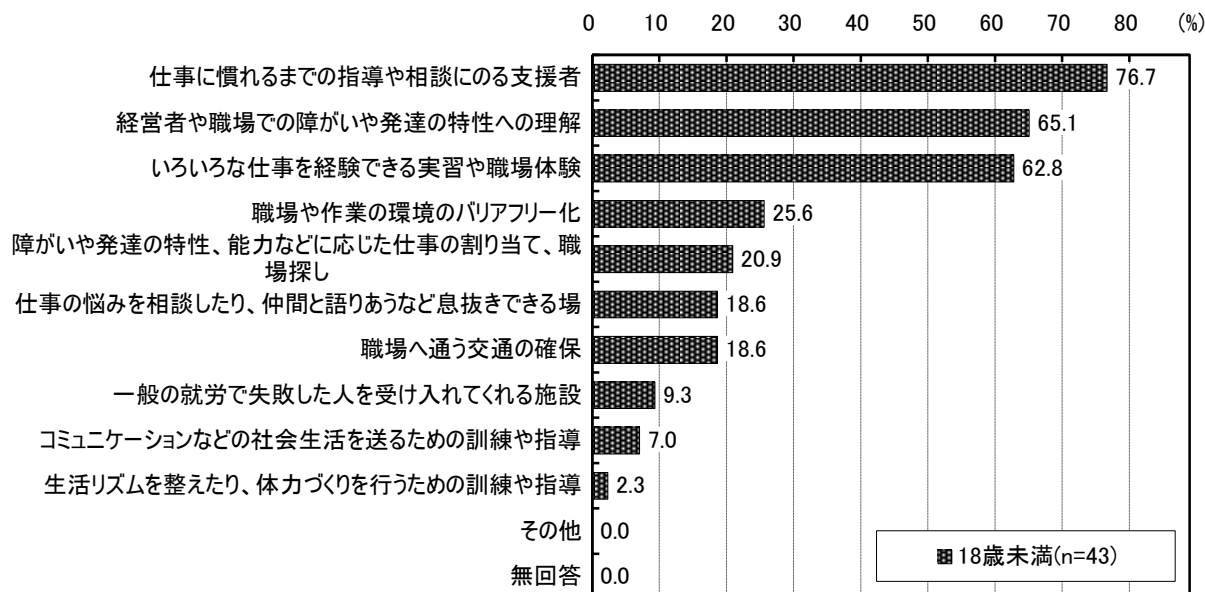
◆お子さん（ご本人）は、将来、働くことについて、どのように考えていますか。

（お子さん（本人）が「中学生」又は「高校生」と回答した方への設問）



・「一般の就労」が41.9%、次いで「障がい者雇用で働く」が14.0%、「一般の就労ではなく、障がいや発達に特性のある人のための施設で働く」が9.3%となっています。

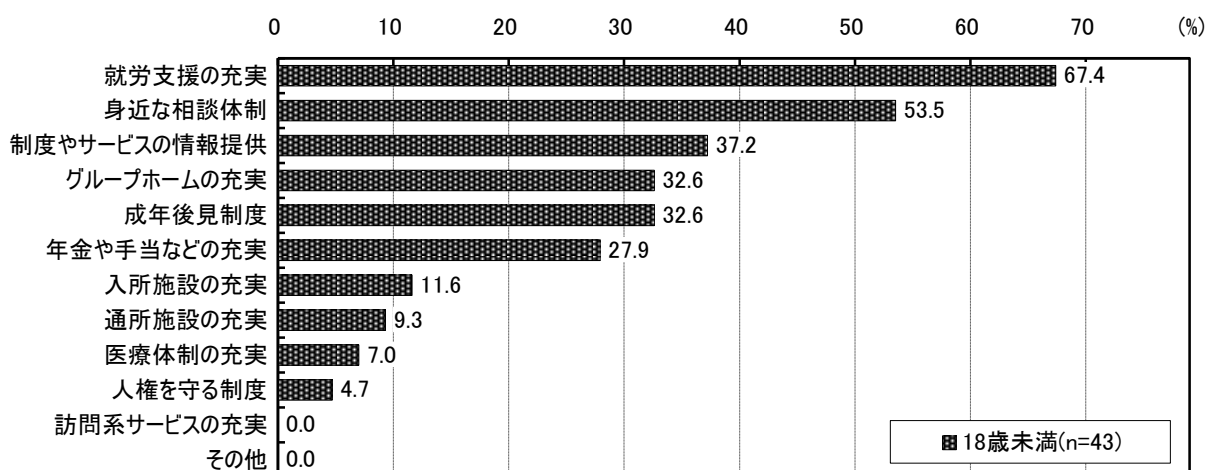
◆障がいや発達に特性がある人が一般の就労で働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（お子さん（本人）が「中学生」又は「高校生」と回答した方への設問）



・「仕事に慣れるまでの指導や相談にのる支援者」が76.7%「経営者や職場での障がいや発達の特性への理解」が65.1%、「いろいろな仕事を体験できる実習や職場体験」が62.8%などとなっています。

◆お子さん（ご本人）の将来の暮らしのために、必要なことは何ですか。

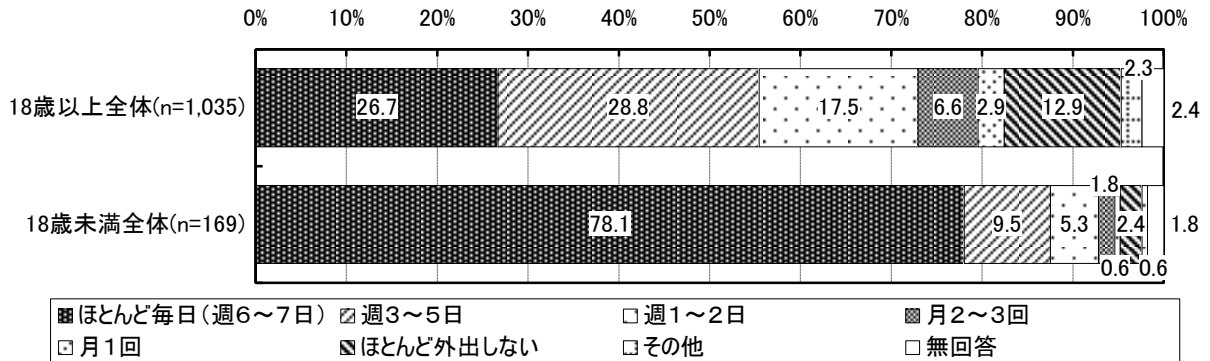
（お子さん（本人）が「中学生」又は「高校生」と回答した方への設問）



・「就労支援の充実」が67.4%、「身近な相談体制」が53.5%、「制度やサービスの情報提供」が37.2%などとなっています。

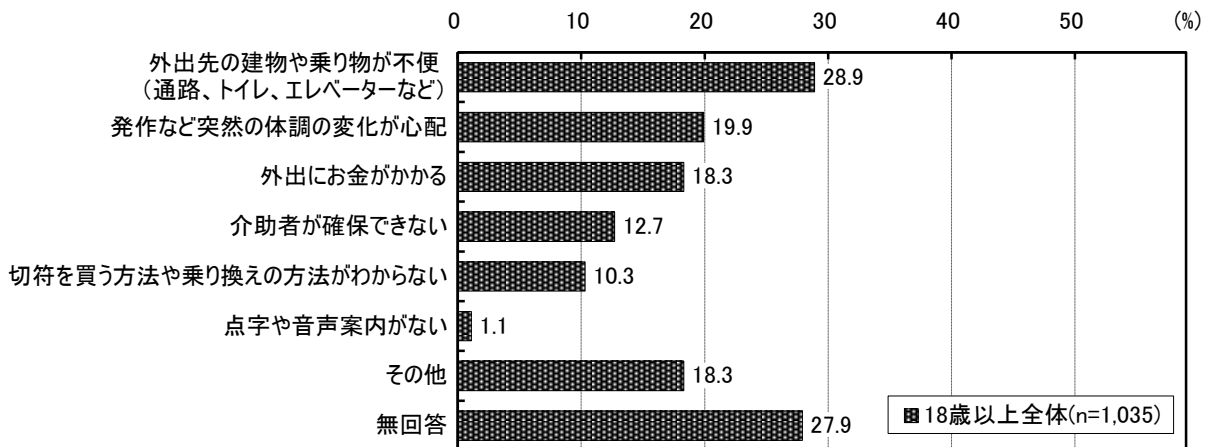
## 5 日常生活の状況

### ◆あなた（お子さん（ご本人））は、どれくらい外出しますか。



- ・18歳以上のうち「週3～5日」が28.8%、「ほとんど毎日（週6～7日）」が26.7%となっていますが、12.9%の人が「ほとんど外出しない」と答えています。
- ・18歳未満のうち78.1%の人が「ほとんど毎日（週6～7日）」と最も多くなっています。

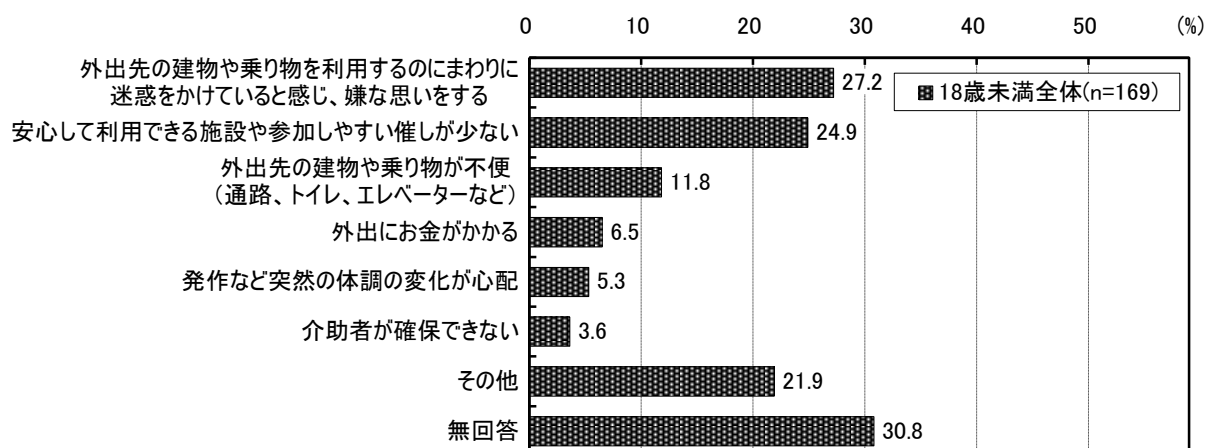
### ◆あなたは、外出するとき、どのようなことに困っていますか。



- ・「外出先の建物や乗り物が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）」が28.9%と最も多く、次いで「発作など突然の体調の変化が心配」が19.9%、「外出にお金がかかる」が18.3%となっています。

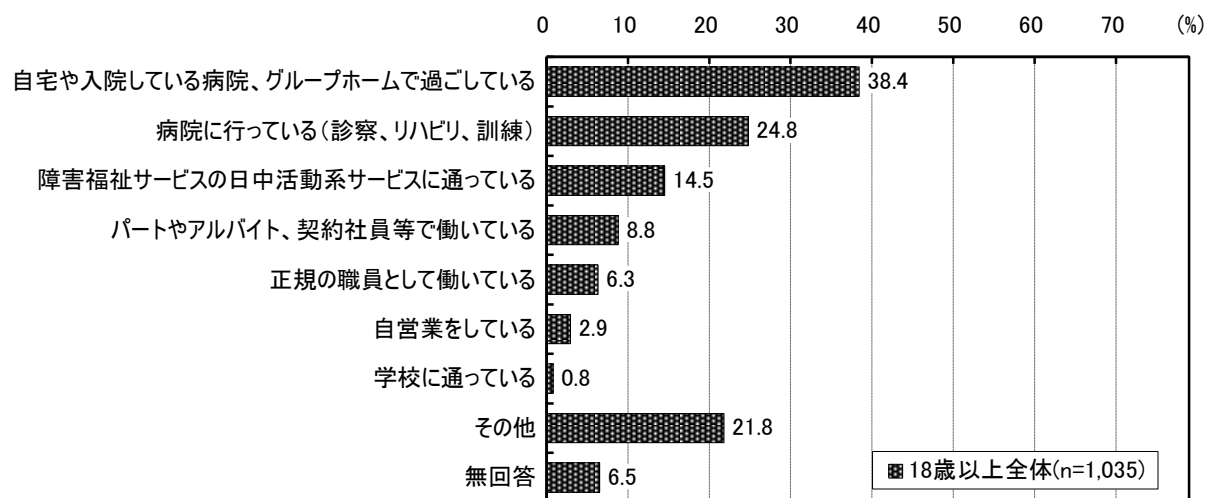


◆お子さん（ご本人）と外出するとき、あなたは、どのようなことに困っていますか。



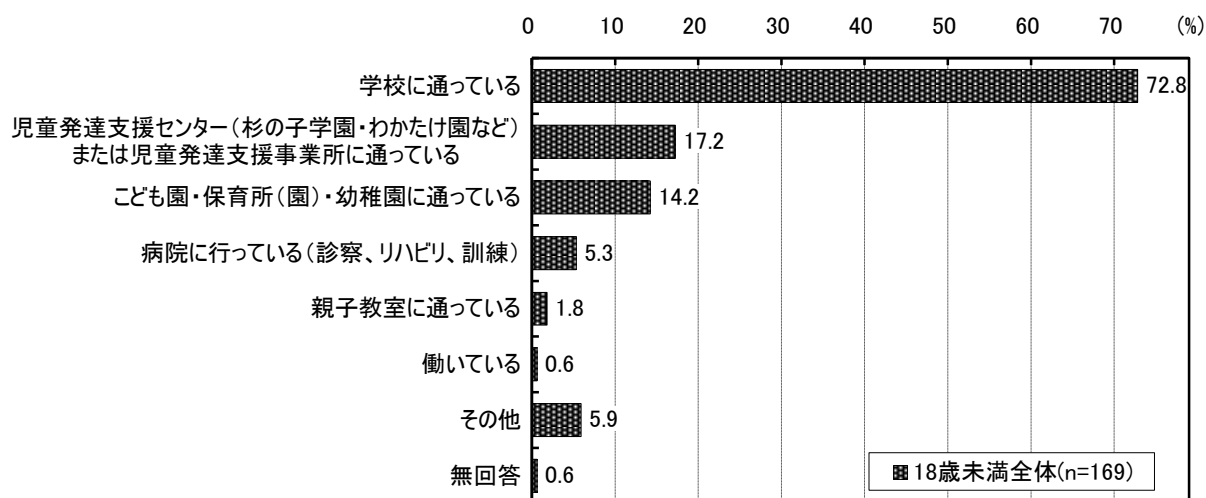
・「外出先の建物や乗り物を利用するのにまわりに迷惑をかけていると感じ、嫌な思いをする」が27.2%、次いで「安心して利用できる施設や参加しやすい催しが少ない」が24.9%となっています。

◆あなたは、平日の昼間の時間帯は、どのように過ごしていますか。



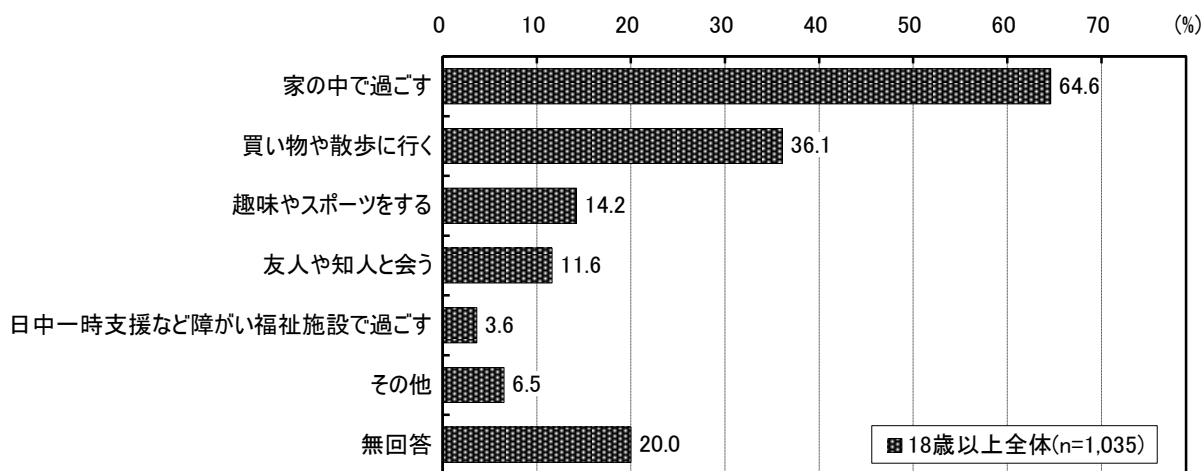
・「自宅や入院している病院、グループホームで過ごしている」が38.4%、次いで「病院に行っている（診察、リハビリ、訓練）」が24.8%となっています。

◆お子さん（ご本人）は、平日の昼間の時間帯は、どのように過ごしていますか。



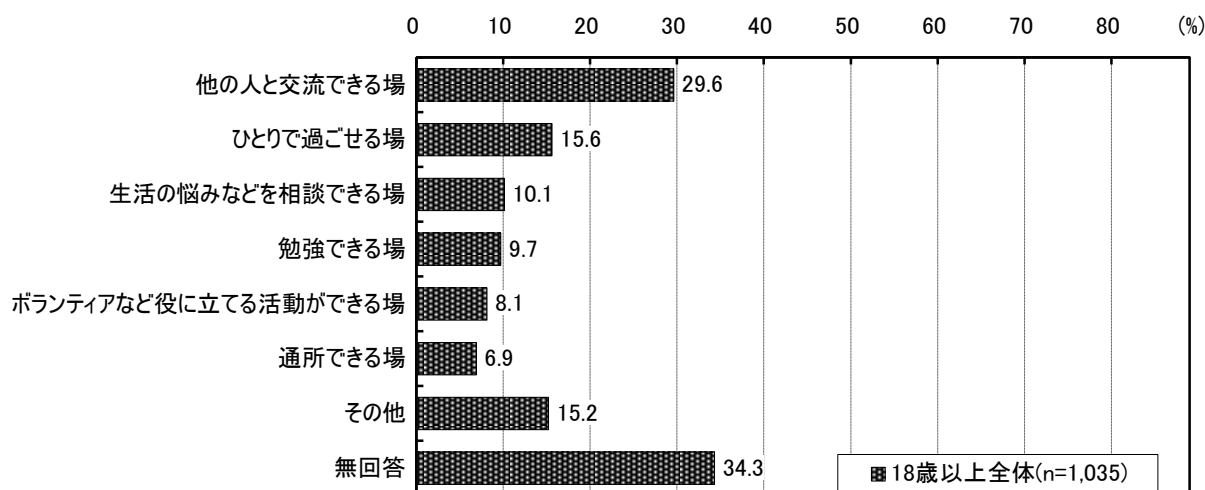
・「学校に通っている」が72.8%と最も多く、次いで「児童発達支援センター（杉の子学園・わかたけ園など）または児童発達支援事業所に通っている」が17.2%、「こども園・保育所（園）・幼稚園に通っている」が14.2%となっています。

◆仕事、学校、通所施設が終わった後やお休みの日は、どのように過ごしていますか。



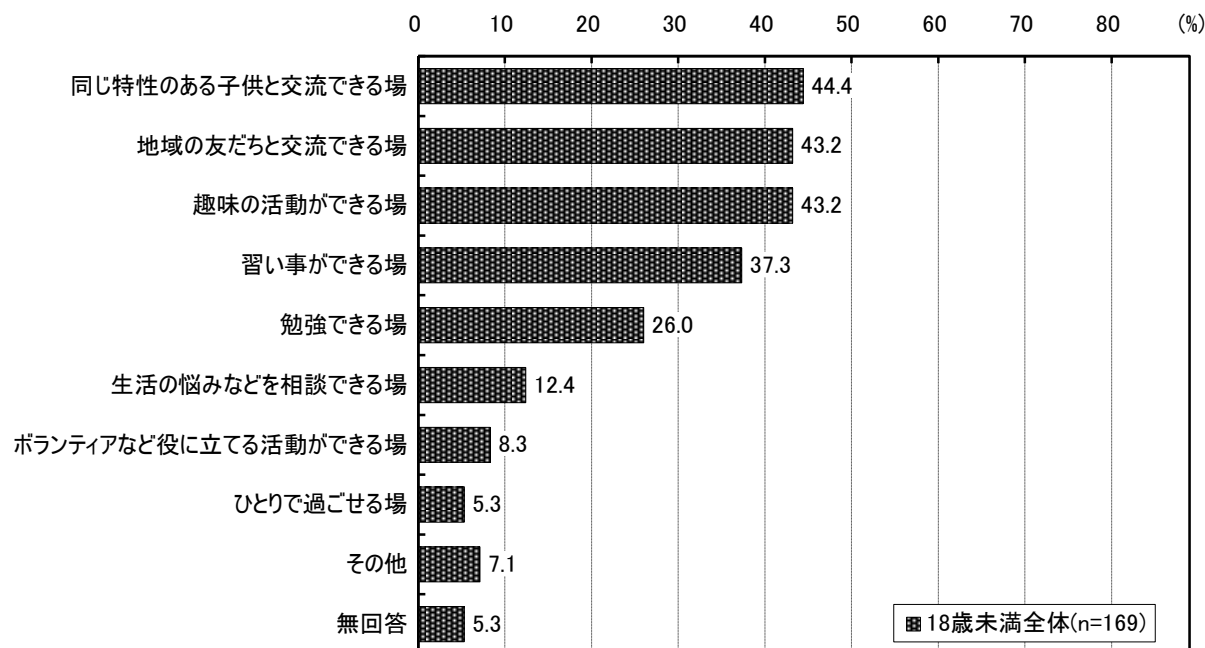
・「家の中で過ごす」が64.6%と最も多く、次いで「買い物や散歩に行く」が36.1%となっています。

◆平日の夕方や休日などに、どのような場に行ってみたいですか。



・「他の人と交流できる場」が29.6%と最も多く、次いで「ひとりで過ごせる場」が15.6%などとなっています。

◆お子さん（ご本人）は、平日の夕方やお休みの日などに、どのような場に行ってみたいですか、または行かせたいと考えていますか。

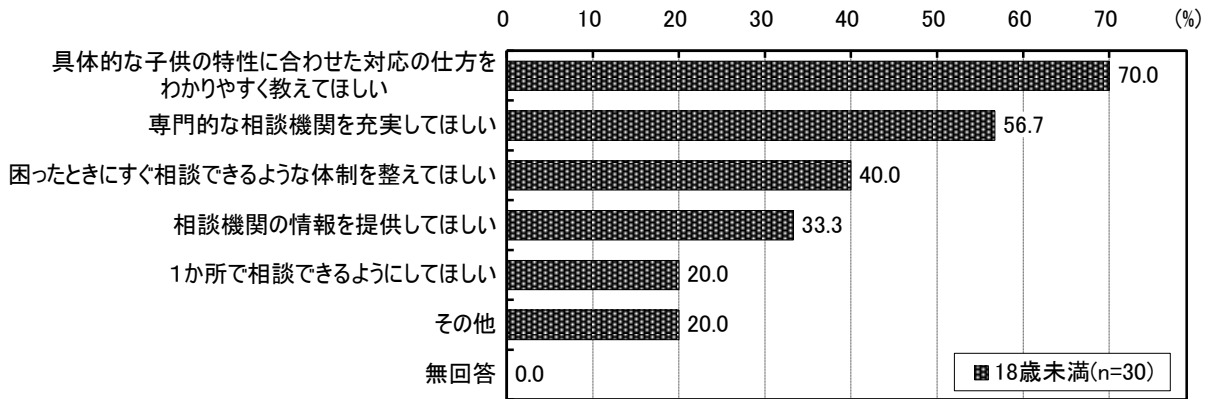


・「同じ特性のある子供と交流できる場」が44.4%、「地域の友だちと交流できる場」、「趣味の活動ができる場」がそれぞれ43.2%などとなっています。

## 6 療育・発達支援に関する状況

### ◆療育に関する相談について望むことがありますか。

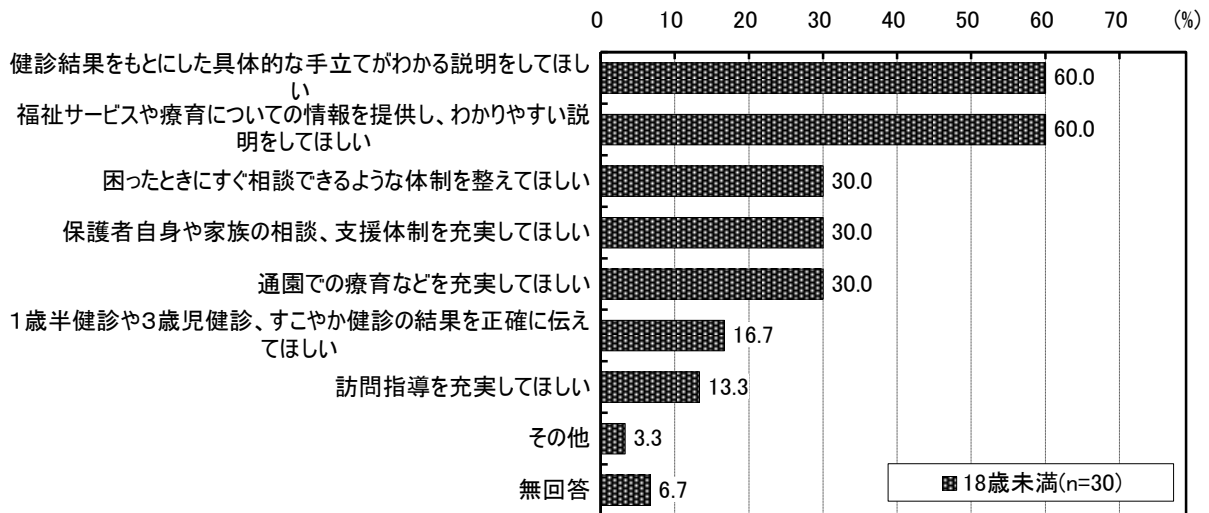
（児童発達支援又は親子教室に通っていると回答した方への設問）



・「具体的な子供の特性に合わせた対応の仕方をわかりやすく教えてほしい」が70.0%と最も多く、次いで「専門的な相談機関を充実してほしい」が56.7%、「困ったときにすぐ相談できるような体制を整えてほしい」が40.0%などとなっています。

### ◆乳幼児期の健診や療育に関してどのようなことを望みますか。

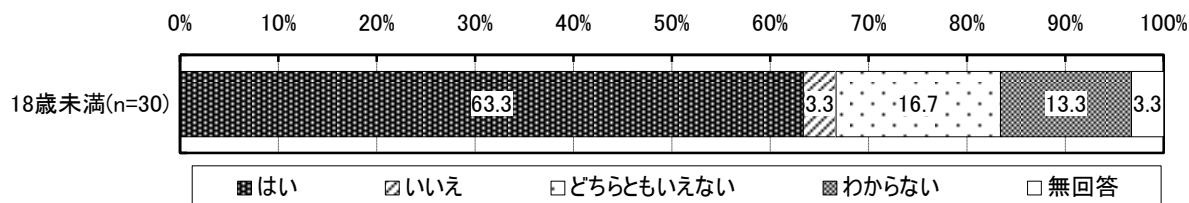
（児童発達支援又は親子教室に通っていると回答した方への設問）



・「健診結果をもとにした具体的な手立てがわかる説明をしてほしい」、「福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明をしてほしい」がそれぞれ60.0%となっています。

◆現在、通所で受けている療育の内容に満足していますか。

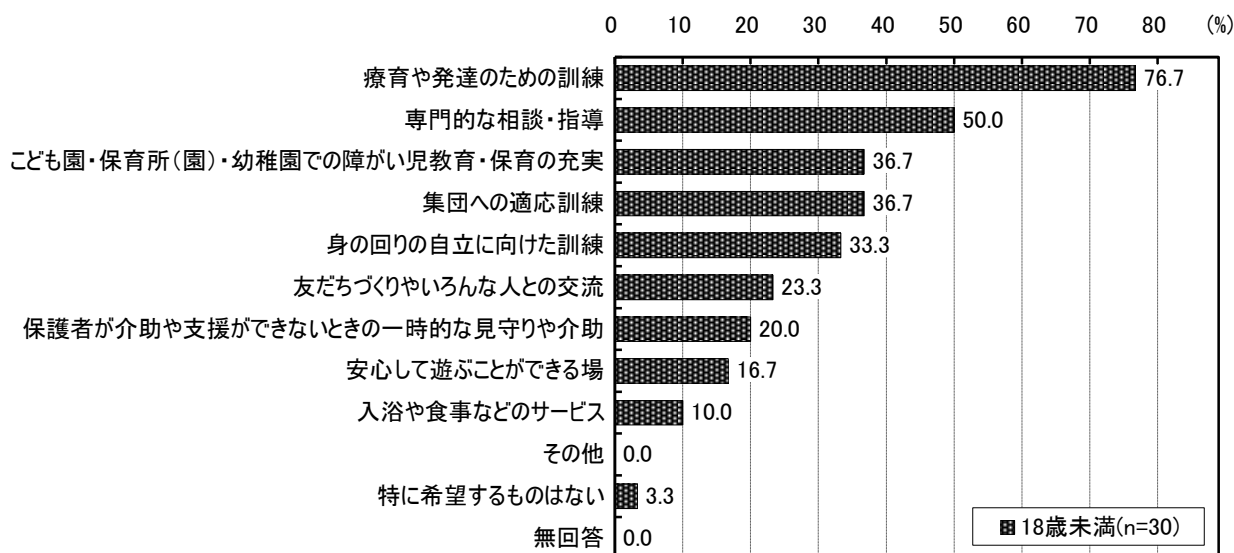
（児童発達支援又は親子教室に通っていると回答した方への設問）



・療育の内容への満足している人（「はい」）は63.3%となっています。

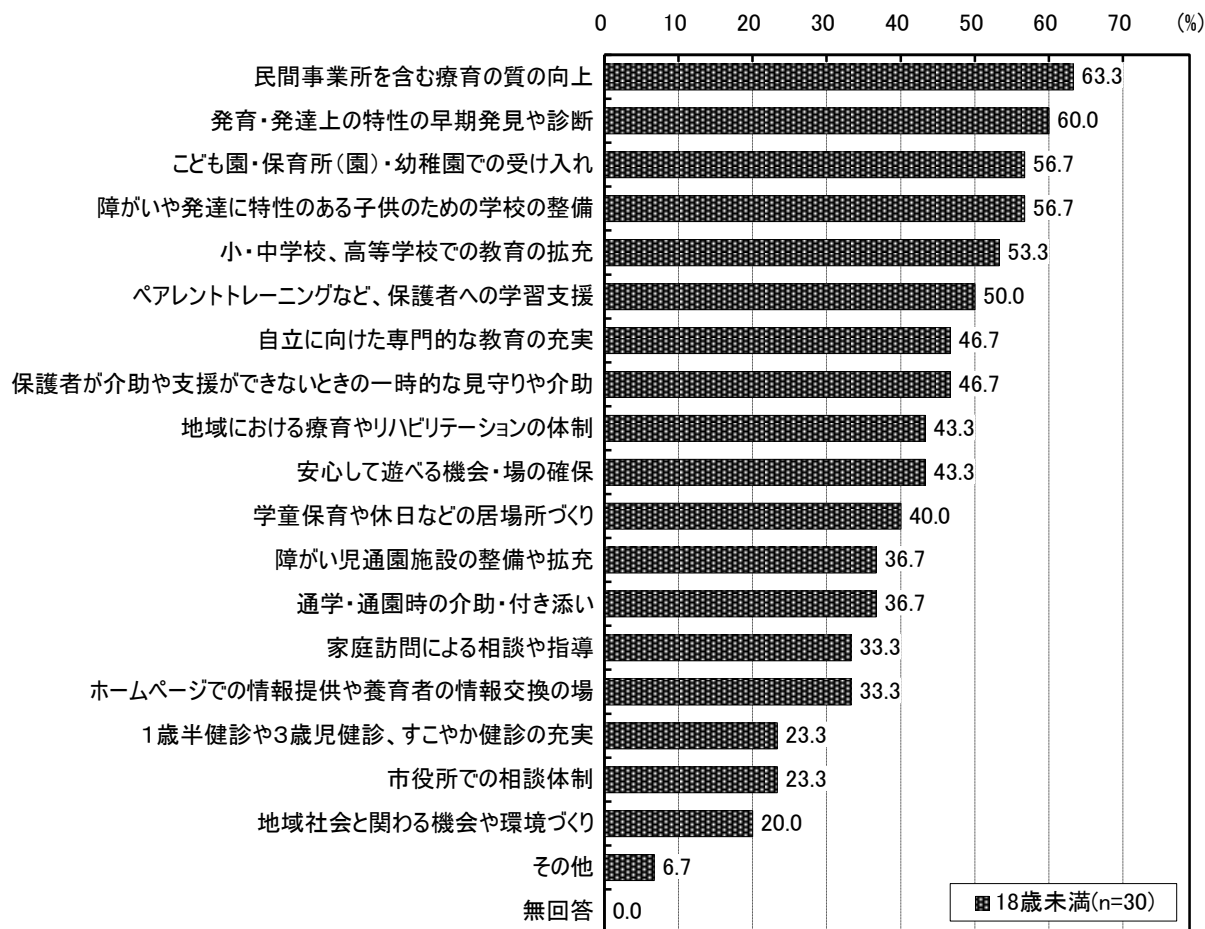
◆どのような療育やサービスを受けることを希望しますか。

（児童発達支援又は親子教室に通っていると回答した方への設問）



・「療育や発達のための訓練」が76.7%と最も多く、次いで「専門的な相談・指導」が50.0%、「こども園・保育所（園）・幼稚園での障がい児教育・保育の充実」と「集団への適応訓練」がそれぞれ36.7%、「身の回りの自立に向けた訓練」が33.3%などとなっています。

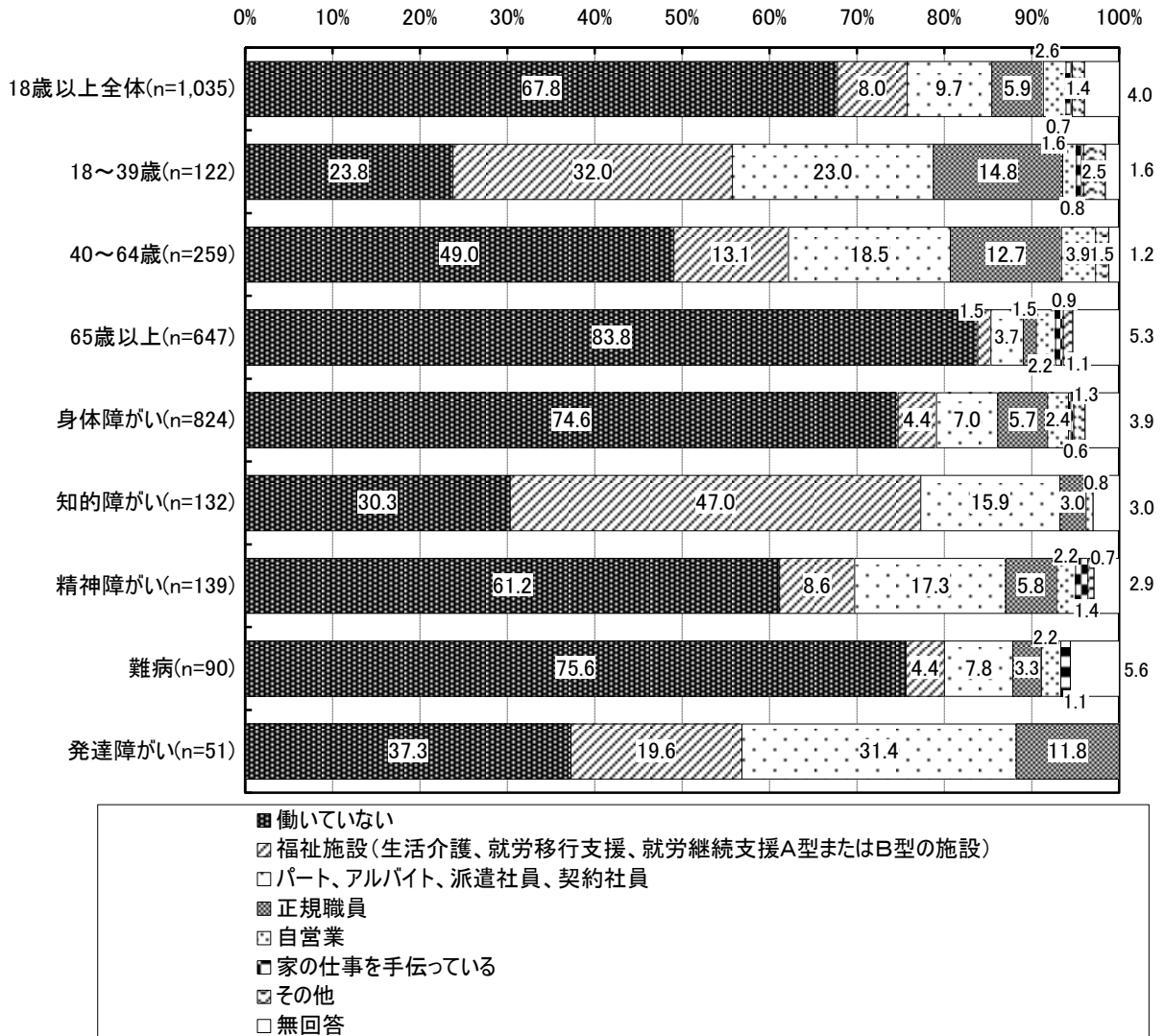
◆障がいや発達に特性のある子供のための施策やサービスなどで、特に充実が必要と思うものは何ですか。（児童発達支援又は親子教室に通っていると回答した方への設問）



・「民間事業所を含む療育の質の向上」が63.3%と最も多く、次いで「発育・発達上の特性の早期発見や診断」が60.0%、「こども園・保育所（園）・幼稚園での受け入れ」と「障がいや発達に特性のある子供のための学校の整備」がそれぞれ56.7%、「小・中学校、高等学校での教育の拡充」が53.3%、「ペアレントトレーニングなど、保護者への学習支援」が50.0%などとなっています。

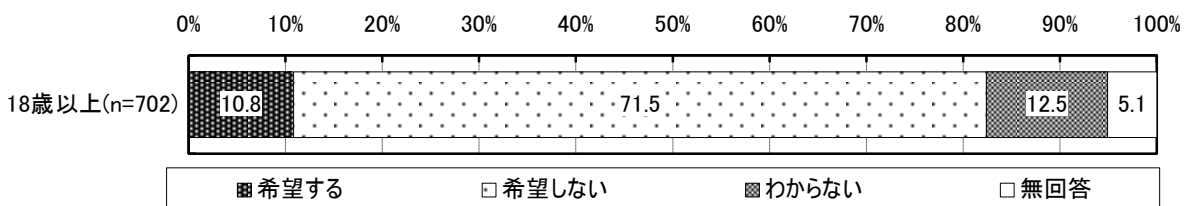
## 7 仕事の状況と意識

### ◆あなたは、現在、仕事をしていますか。



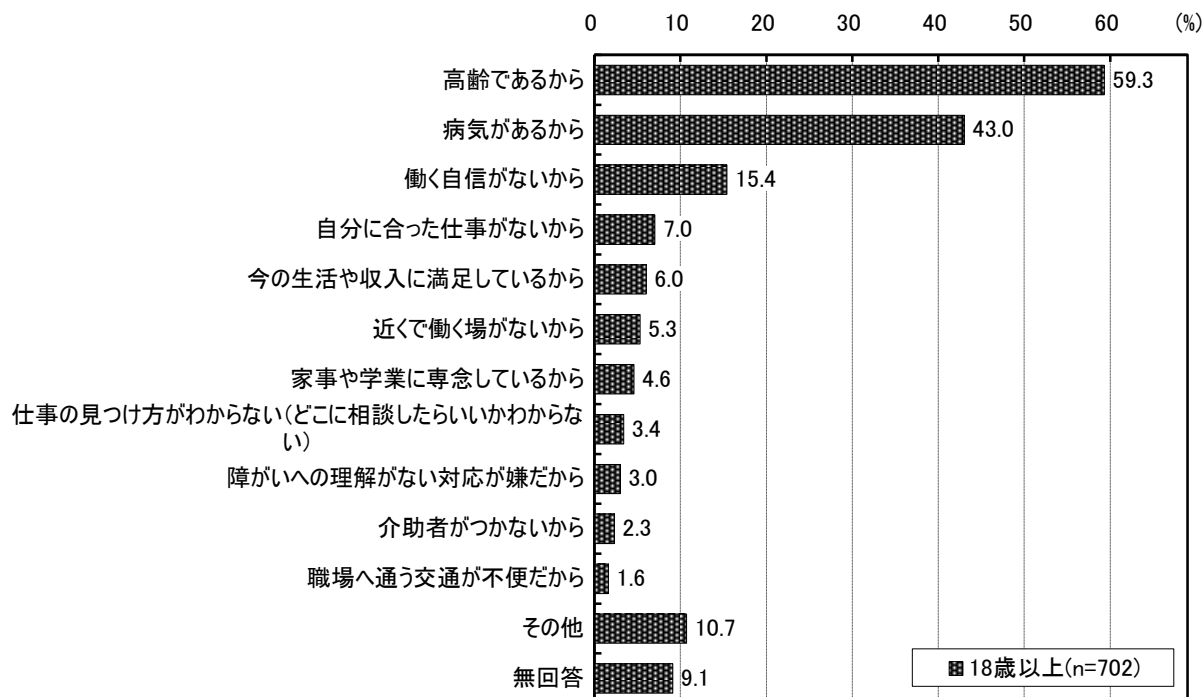
・何らかの形で働いている人は26.9%で、働いていない人が67.8%となっています。年齢別には、18～39歳では72.2%の人が福祉施設やパート・アルバイト等で働いています。また、障がい種別ごとにみると、知的障がいのある人で福祉施設が47.0%となっています。

### ◆（「1 働いていない」と回答した人）あなたは、働くことを希望しますか。



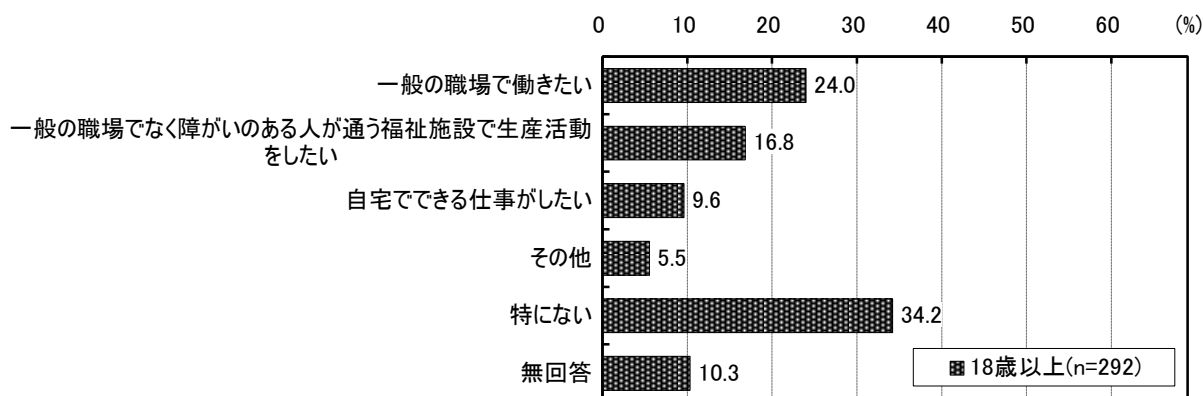
・働くことを希望しないと答えた人は71.5%となっています。

◆ 「1 働いていない」と回答した人）あなたが、現在、働いていない、または働くことを希望しない理由は何ですか。



・「高齢であるから」が59.3%と最も多く、次いで「病気があるから」が43.0%となっています。

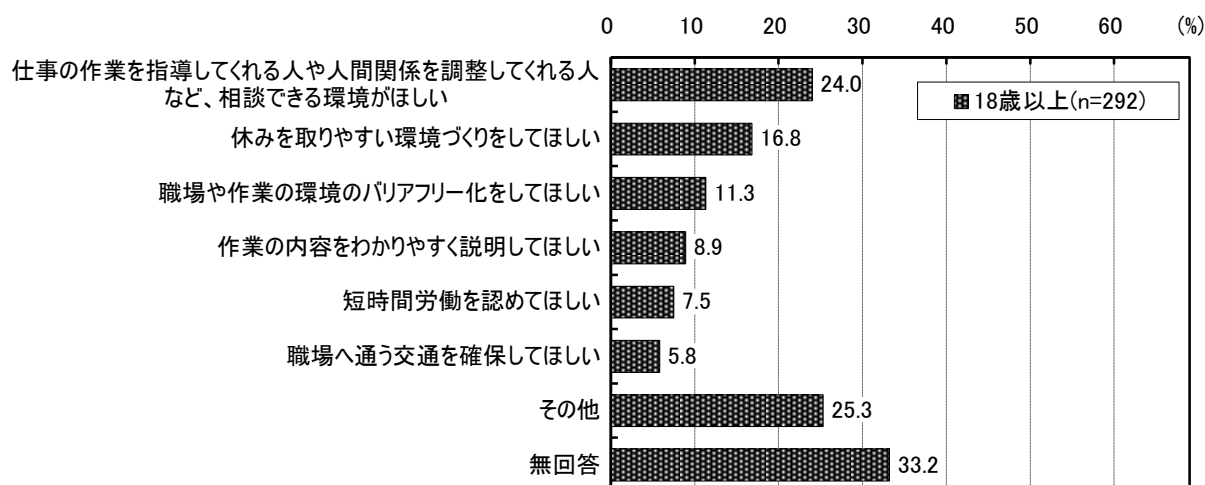
◆ 「2～7までのいずれかを回答した人）あなたは、どのような働き方を希望されますか。



・「一般の職場で働きたい」が24.0%と最も多く、次いで「一般の職場でなく障がいのある人が通う福祉施設で生産活動をしたい」が16.8%などとなっています。



◆（2～7までのいずれかを回答した人）あなたの現在の仕事に必要な支援は何ですか。

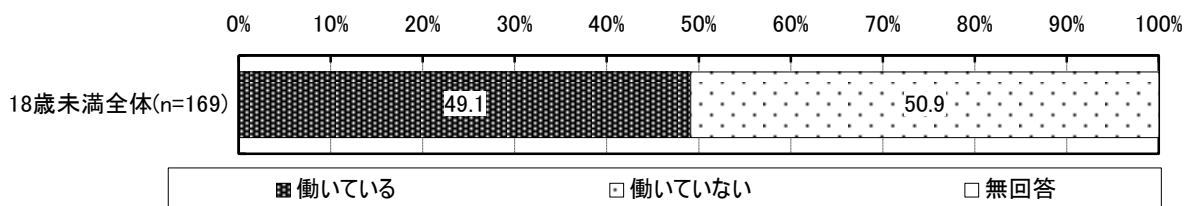


・「仕事の作業を指導してくれる人や人間関係を調整してくれる人など、相談できる環境がほしい」が24.0%と最も多く、次いで「休みを取りやすい環境づくりをしてほしい」が16.8%などとなっています。

単位：%	全体 (n=292)	18～39歳 (n=91)	40～64歳 (n=129)	65歳以上 (n=71)	身体障がい (n=177)	知的障がい (n=88)	精神障がい (n=50)	難病 (n=17)	発達障がい (n=32)
職場や作業の環境のバリアフリー化をしてほしい	11.3	9.9	14.0	8.5	16.9	12.5	4.0	<b>35.3</b>	6.3
職場へ通う交通を確保してほしい	5.8	5.5	7.0	4.2	6.8	8.0	2.0	11.8	3.1
作業の内容をわかりやすく説明してほしい	8.9	16.5	7.8	1.4	4.0	18.2	12.0	0.0	<b>21.9</b>
短時間労働を認めてほしい	7.5	6.6	7.0	9.9	6.2	6.8	12.0	11.8	3.1
休みを取りやすい環境づくりをしてほしい	16.8	17.6	20.2	9.9	13.6	6.8	<b>38.0</b>	23.5	18.8
仕事の作業を指導してくれる人や人間関係を調整してくれる人など、相談できる環境がほしい	24.0	<b>37.4</b>	24.8	4.2	14.7	<b>46.6</b>	26.0	29.4	<b>37.5</b>
その他	25.3	23.1	22.5	33.8	26.6	20.5	26.0	23.5	21.9
無回答	33.2	27.5	32.6	42.3	36.7	31.8	28.0	17.6	31.3

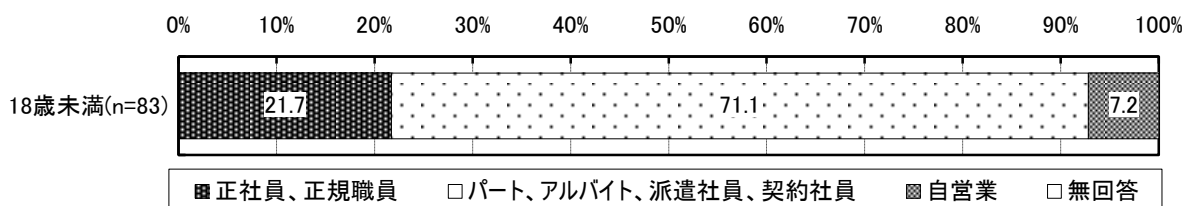
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆あなたは現在、働いていますか。



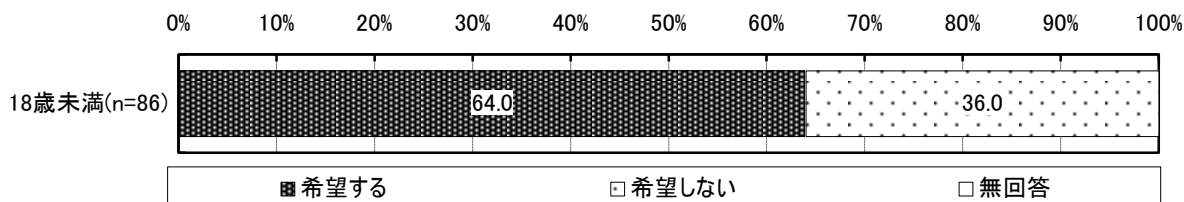
・「働いている」が49.1%、「働いていない」が50.9%とほぼ拮抗しています。

◆（「1 働いている」と回答した人）どのような雇用形態ですか。



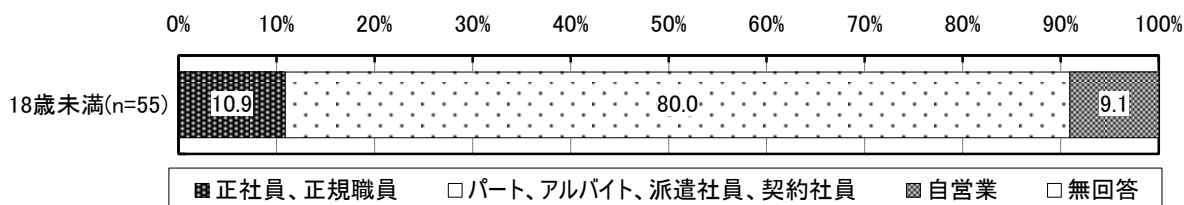
・「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が71.1%と最も多く、次いで「正社員、正規職員」が21.7%、「自営業」が7.2%となっています。

◆（「2 働いていない」と回答した人）あなたは、働くことを希望しますか。



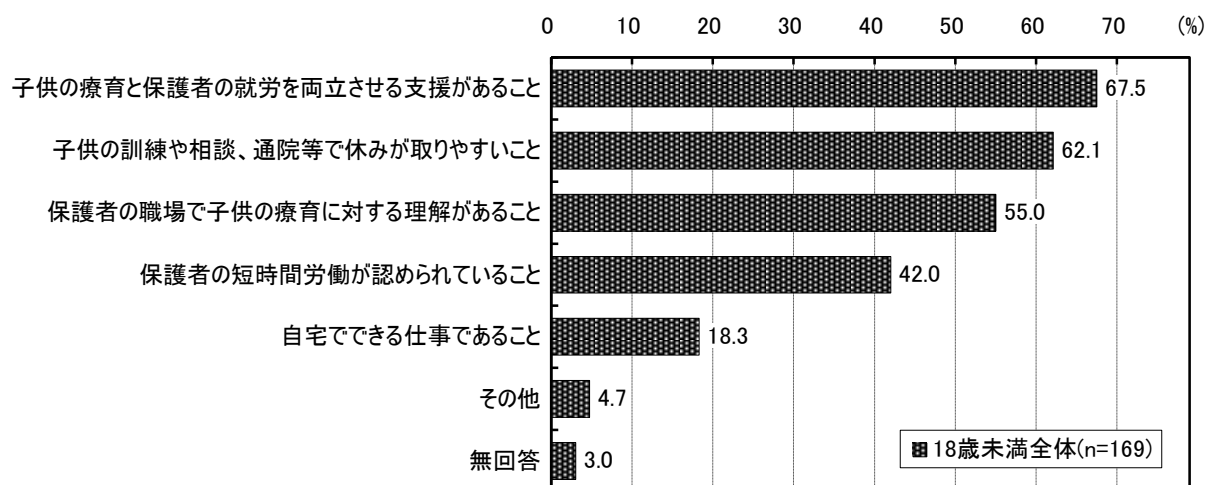
・働くことを希望すると答えた人は64.0%となっています。

◆（「1 希望する」と回答した人）あなたは、どのような雇用形態を希望しますか。



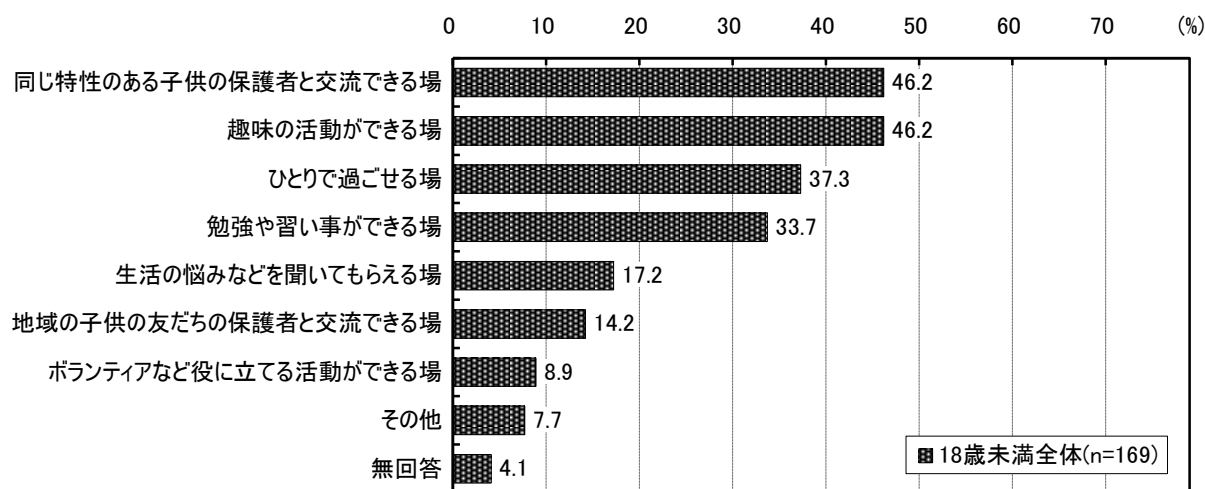
・「パート、アルバイト、派遣社員、契約社員」が80.0%と最も多く、次いで「正社員、正規職員」が10.9%、「自営業」が9.1%となっています。

◆保護者の就労に関して、必要な支援とは何ですか。



・「子供の療育と保護者の就労を両立させる支援があること」が67.5%と最も多く、次いで「子供の訓練や相談、通院等で休みが取りやすいこと」が62.1%、「保護者の職場で子供の療育に対する理解があること」が55.0%などとなっています。

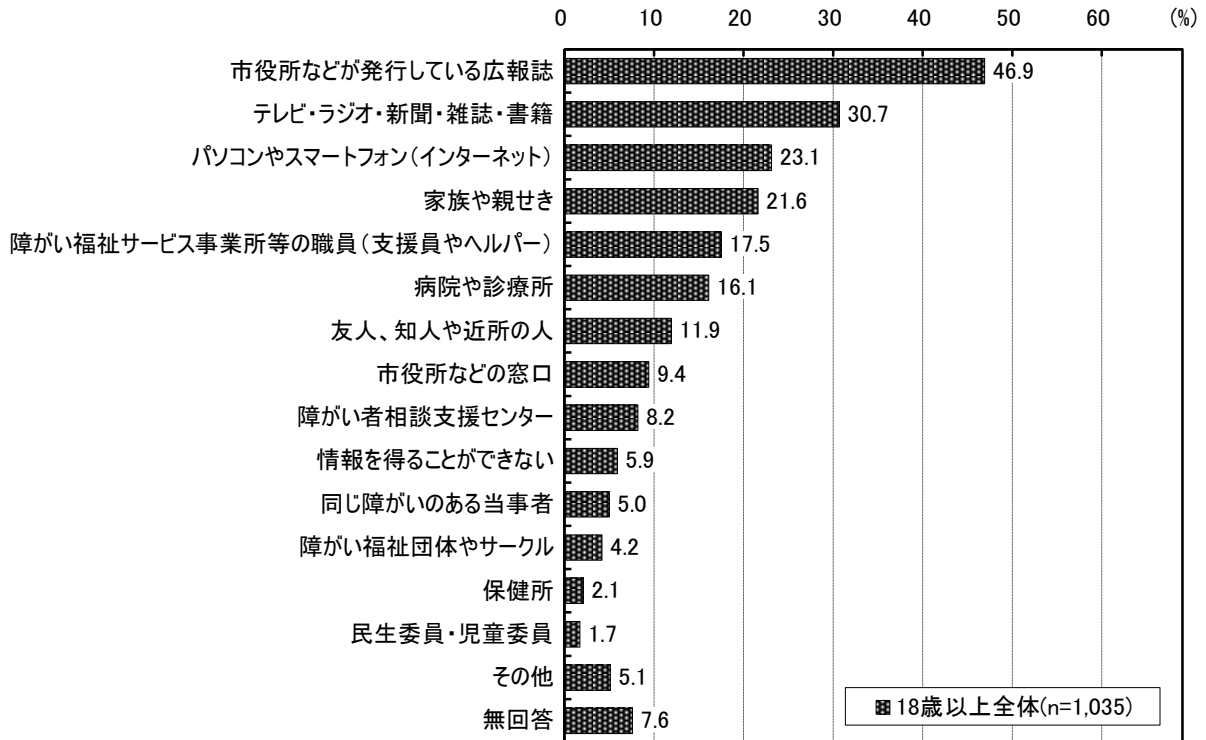
◆あなたは、お休みの日などにどのような場に行ってみたいですか。



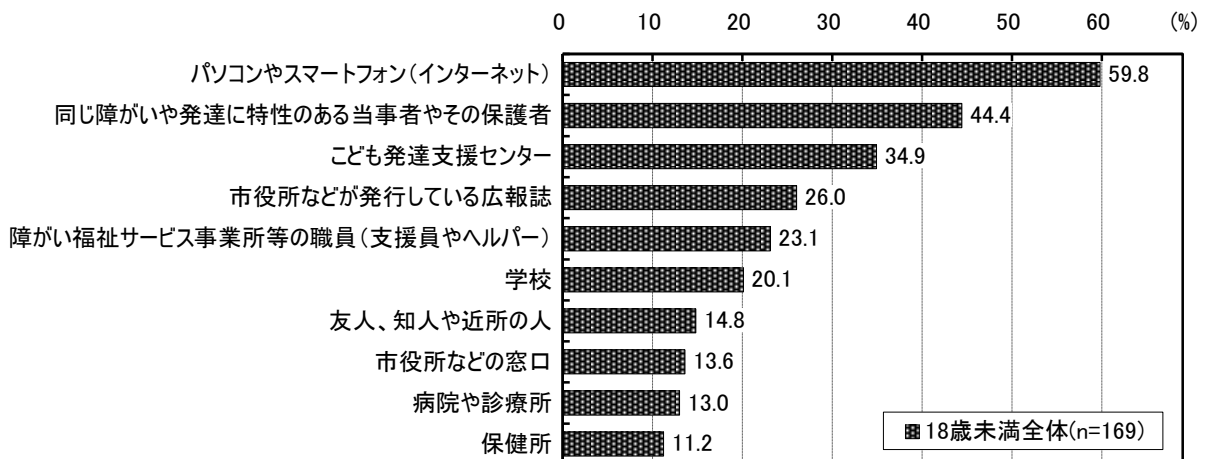
・「同じ特性のある子供の保護者と交流できる場」、「趣味の活動ができる場」がそれぞれ46.2%、次いで「ひとりで過ごせる場」が37.3%、「勉強や習い事ができる場」が33.7%などとなっています。

## 8 情報の入手や相談支援に関する状況

◆あなたは、保健や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。



・「市役所などが発行している広報誌」が46.9%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍」が30.7%、「パソコンやスマートフォン(インターネット)」が23.1%、「家族や親せき」が21.6%、「障がい福祉サービス事業所等の職員(支援員やヘルパー)」が17.5%、「病院や診療所」が16.1%の順となっています。



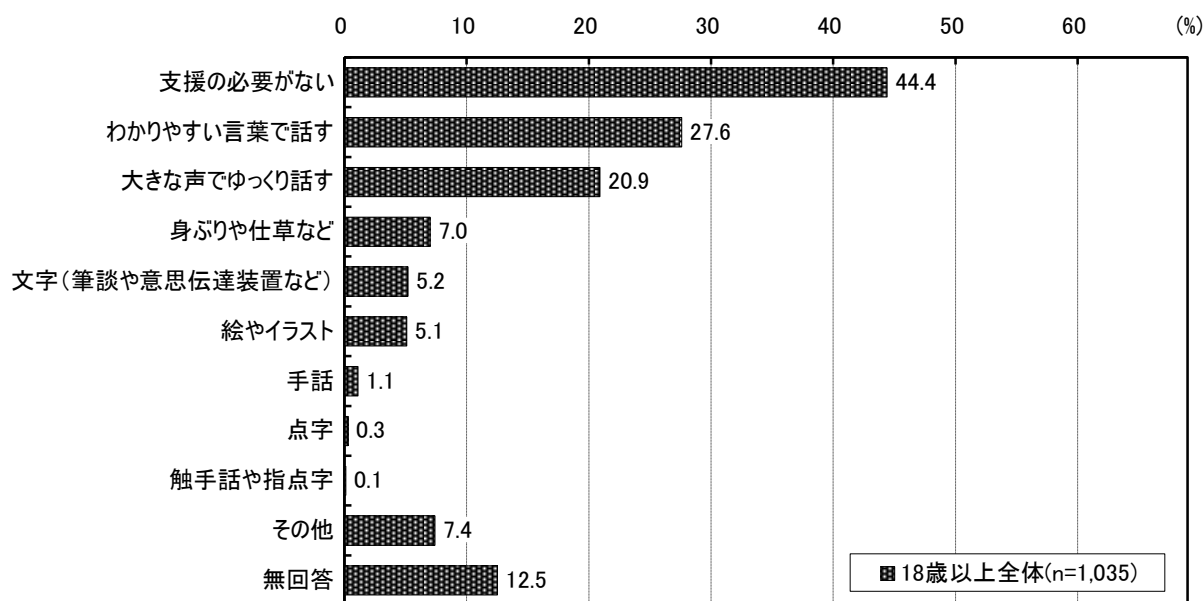
・「パソコンやスマートフォン(インターネット)」が59.8%と最も多く、次いで「同じ障がいや発達に特性のある当事者やその保護者」が44.4%、「こども発達支援センター」が34.9%、「市役所などが発行している広報誌」が26.0%、「障がい福祉サービス事業所等の職員(支援員やヘルパー)」が23.1%、「学校」が20.1%の順となっています。

\*\*\*\*\* 吹田市 新たな障がい（障がい児）福祉計画の策定に向けたアンケート調査 \*\*\*\*\*

単位：%	全体 (n=1,035)	18～39歳 (n=122)	40～64歳 (n=259)	65歳以上 (n=647)	身体障がい (n=824)	知的障がい (n=132)	精神障がい (n=139)	難病 (n=90)	発達障がい (n=51)
パソコンやスマートフォン（インターネット）	23.1	<b>47.5</b>	<b>39.0</b>	12.4	21.6	16.7	<b>35.3</b>	20.0	<b>49.0</b>
市役所などが発行している広報誌	46.9	31.1	39.0	53.3	51.2	25.8	35.3	<b>57.8</b>	29.4
市役所などの窓口	9.4	13.9	11.6	7.7	9.5	14.4	13.7	7.8	<b>19.6</b>
障がい者相談支援センター	8.2	<b>18.9</b>	9.7	5.6	7.2	<b>25.8</b>	12.2	6.7	15.7
障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）	17.5	<b>28.7</b>	18.1	15.3	16.3	<b>48.5</b>	17.3	18.9	19.6
病院や診療所	16.1	23.0	17.0	14.5	15.5	11.4	<b>27.3</b>	22.2	<b>31.4</b>
保健所	2.1	1.6	2.7	2.0	1.7	2.3	2.2	<b>12.2</b>	2.0
障がい福祉団体やサークル	4.2	12.3	5.8	2.0	3.5	<b>17.4</b>	5.8	1.1	5.9
同じ障がいのある当事者	5.0	11.5	6.9	3.1	4.5	11.4	7.9	3.3	11.8
民生委員・児童委員	1.7	0.8	0.0	2.6	1.8	0.8	1.4	2.2	0.0
家族や親せき	21.6	<b>32.8</b>	15.8	21.8	22.0	24.2	22.3	22.2	<b>35.3</b>
友人、知人や近所の人	11.9	13.1	7.7	13.3	13.1	9.8	10.1	12.2	13.7
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・書籍	30.7	11.5	22.0	37.9	34.3	8.3	18.7	36.7	19.6
情報を得ることができない	5.9	4.1	6.6	6.0	5.5	5.3	9.4	5.6	7.8
その他	5.1	4.9	5.0	5.3	4.7	10.6	2.9	5.6	3.9
無回答	7.6	4.1	5.4	9.0	7.0	9.1	3.6	6.7	7.8

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆あなたが、コミュニケーションを取る時、必要な支援は何ですか。

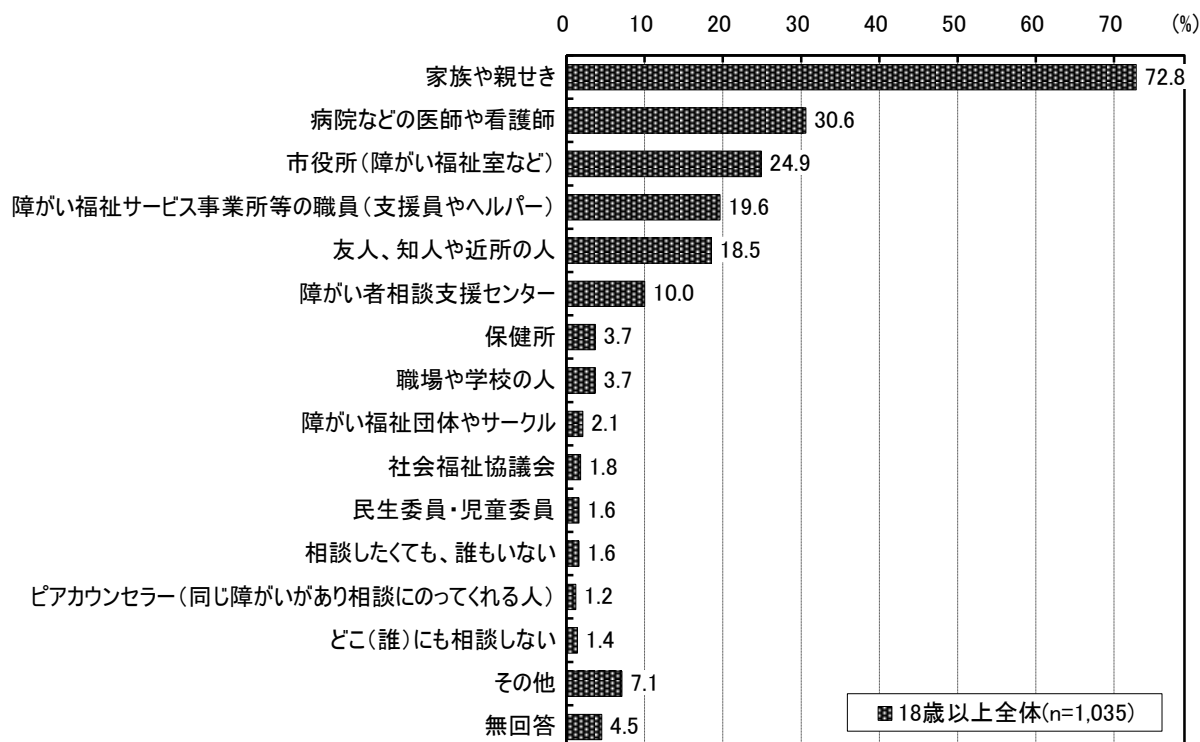


・「支援の必要がない」が44.4%と最も多く、次いで「わかりやすい言葉で話す」が27.6%、「大きな声でゆっくり話す」が20.9%などとなっています。

単位：%	全体 (n=1,035)	18～39歳 (n=122)	40～64歳 (n=259)	65歳以上 (n=647)	身体障がい (n=824)	知的障がい (n=132)	精神障がい (n=139)	難病 (n=90)	発達障がい (n=51)
支援の必要がない	44.4	32.0	52.1	44.0	46.8	15.9	38.8	43.3	23.5
文字(筆談や意思伝達装置など)	5.2	8.2	7.7	3.7	5.0	11.4	7.9	3.3	11.8
絵やイラスト	5.1	13.9	7.3	2.6	3.4	<b>22.0</b>	7.2	4.4	<b>17.6</b>
身ぶりや仕草など	7.0	<b>19.7</b>	8.1	4.2	5.8	<b>28.8</b>	8.6	5.6	<b>19.6</b>
手話	1.1	0.8	1.9	0.8	1.3	1.5	0.0	1.1	2.0
点字	0.3	1.6	0.0	0.2	0.4	0.0	0.7	0.0	2.0
触手話や指点字	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
大きな声でゆっくり話す	20.9	15.6	12.7	25.2	22.6	18.2	15.8	28.9	17.6
わかりやすい言葉で話す	27.6	<b>50.0</b>	24.7	24.6	24.0	<b>56.8</b>	34.5	27.8	<b>56.9</b>
その他	7.4	9.8	8.1	6.6	7.0	9.8	8.6	12.2	15.7
無回答	12.5	4.9	8.9	15.0	12.6	9.8	10.8	8.9	5.9

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆あなたは、困った時や相談したい時、どこ（誰）に相談しますか。

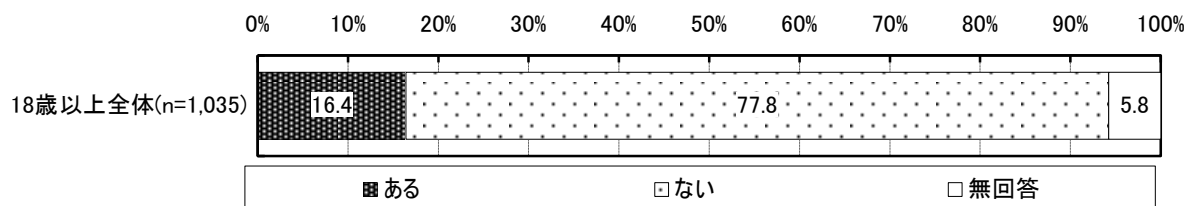


・「家族や親せき」が72.8%と最も多く、次いで「病院などの医師や看護師」が30.6%、「市役所（障がい福祉室など）」が24.9%、「障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）」が19.6%、「友人、知人や近所の人」が18.5%の順となっています。

単位：%	全体 (n=1,035)	18~39歳 (n=122)	40~64歳 (n=259)	65歳以上 (n=647)	身体障がい (n=824)	知的障がい (n=132)	精神障がい (n=139)	難病 (n=90)	発達障がい (n=51)
家族や親せき	72.8	73.0	65.6	75.7	76.0	57.6	61.2	73.3	62.7
市役所（障がい福祉室など）	24.9	23.8	26.6	24.6	26.2	30.3	25.2	31.1	27.5
障がい者相談支援センター	10.0	16.4	12.4	8.0	9.1	<b>27.3</b>	14.4	11.1	17.6
社会福祉協議会	1.8	1.6	2.3	1.7	1.7	2.3	2.9	2.2	0.0
保健所	3.7	3.3	4.2	3.4	3.0	2.3	7.2	<b>16.7</b>	5.9
障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）	19.6	<b>34.4</b>	22.4	15.9	18.4	<b>53.0</b>	18.7	21.1	25.5
病院などの医師や看護師	30.6	29.5	26.6	32.6	30.7	22.7	<b>43.9</b>	<b>48.9</b>	<b>43.1</b>
職場や学校の人	3.7	<b>13.9</b>	6.6	0.6	2.5	9.8	5.8	3.3	<b>17.6</b>
障がい福祉団体やサークル	2.1	5.7	3.1	1.1	1.8	8.3	3.6	1.1	3.9
ピアカウンセラー（同じ障がいがあり相談にのってくれる人）	1.2	0.8	1.5	1.1	1.0	0.8	2.2	4.4	0.0
民生委員・児童委員	1.6	0.8	0.4	2.3	1.9	0.8	0.7	1.1	0.0
友人、知人や近所の人	18.5	26.2	17.4	17.6	18.6	15.2	17.3	11.1	17.6
相談したくても、誰もいない	1.6	0.0	3.1	1.4	1.5	0.8	4.3	1.1	2.0
どこ（誰）にも相談しない	1.4	1.6	2.3	0.9	1.0	0.0	4.3	2.2	2.0
その他	7.1	8.2	6.6	7.1	6.3	10.6	7.9	5.6	11.8
無回答	4.5	4.1	4.2	4.5	3.9	6.8	4.3	1.1	3.9

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

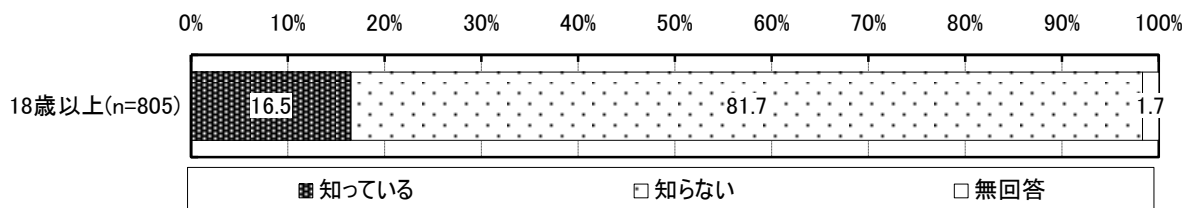
◆あなたは、障がい者相談支援センターを利用したことがありますか。



・障がい者相談支援センターを利用したことがないと答えた人は77.8%となっています。

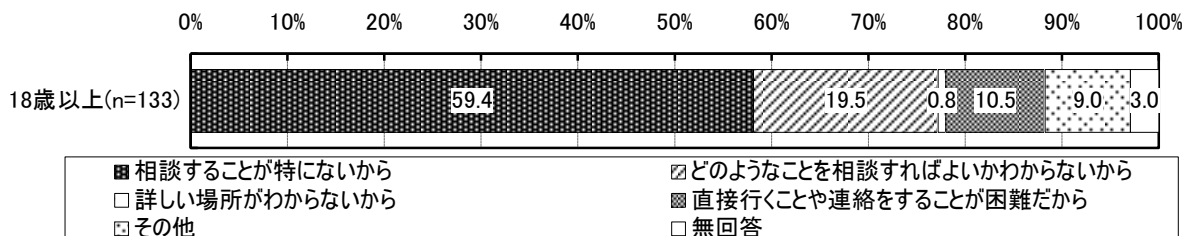


◆（「2 ない」と回答した人）あなたは、障がい者相談支援センターが市内6か所に設置されていることを知っていますか。



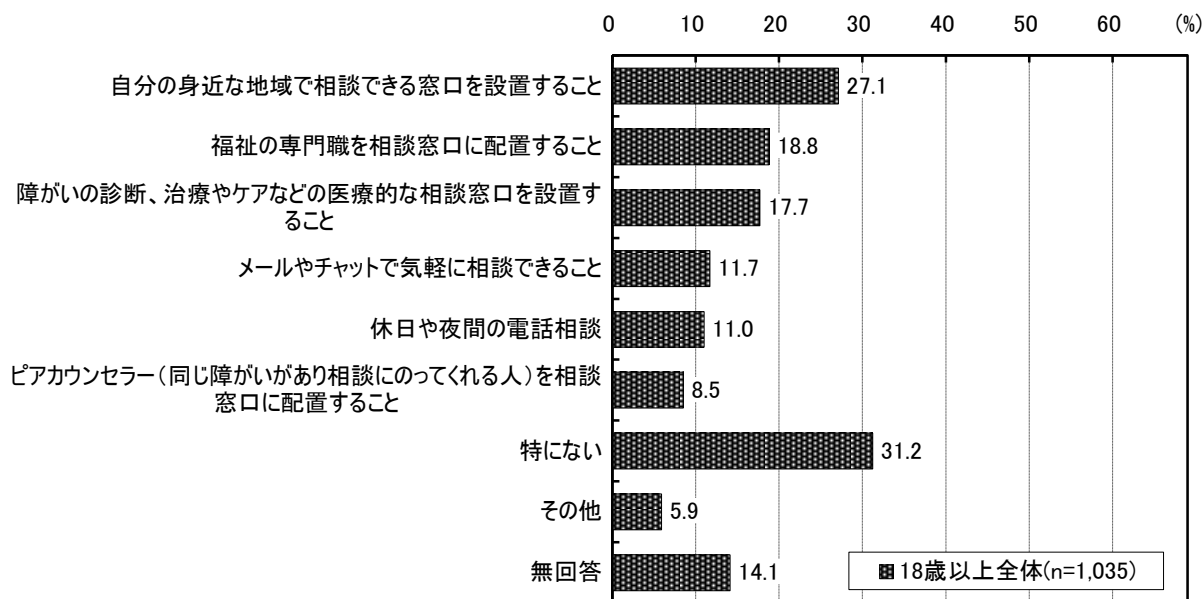
・「知っている」と答えた人は16.5%にとどまっています。

◆（「1 知っている」と回答した人）あなたが、障がい者相談支援センターを利用しない理由は何ですか。



・「相談することが特にないから」が59.4%、「どのようなことを相談すればよいかわからないから」が19.5%となっています。

◆あなたが、相談支援体制について、希望することは何ですか。

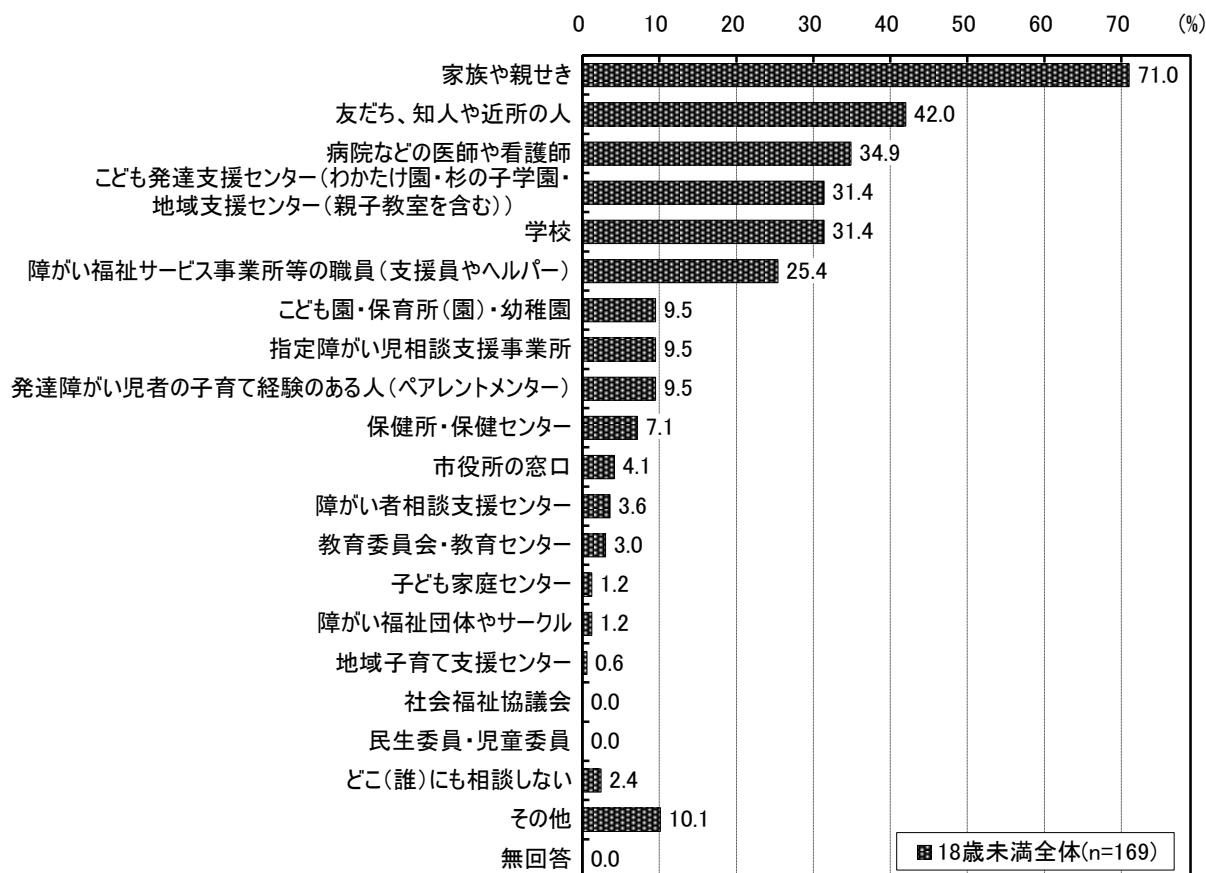


・「自分の身近な地域で相談できる窓口を設置すること」が27.1%と最も多く、次いで「福祉の専門職を相談窓口に配置すること」が18.8%、「障がいの診断、治療やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること」が17.7%となっています。

単位：%	全体 (n=1,035)	18～39歳 (n=122)	40～64歳 (n=259)	65歳以上 (n=647)	身体障がい (n=824)	知的障がい (n=132)	精神障がい (n=139)	難病 (n=90)	発達障がい (n=51)
福祉の専門職を相談窓口に配置すること	18.8	28.7	23.9	15.1	17.8	<b>34.8</b>	22.3	17.8	<b>33.3</b>
ピアカウンセラー（同じ障がいがあり相談にのってくれる人）を相談窓口に配置すること	8.5	12.3	10.4	7.1	7.3	9.1	15.1	11.1	<b>23.5</b>
障がいの診断、治療やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること	17.7	23.0	18.9	16.2	18.1	24.2	17.3	<b>28.9</b>	<b>29.4</b>
休日や夜間の電話相談	11.0	15.6	15.1	8.7	9.5	12.9	<b>21.6</b>	10.0	19.6
メールやチャットで気軽に相談できること	11.7	<b>27.0</b>	19.7	5.7	10.2	10.6	<b>22.3</b>	6.7	<b>25.5</b>
自分の身近な地域で相談できる窓口を設置すること	27.1	32.8	25.1	26.9	27.2	32.6	25.2	32.2	33.3
特になし	31.2	24.6	24.7	35.2	32.8	18.9	24.5	24.4	21.6
その他	5.9	4.9	6.6	5.9	5.6	5.3	8.6	6.7	7.8
無回答	14.1	6.6	12.0	15.9	13.7	14.4	12.2	11.1	11.8

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆あなたは、困った時や相談したい時、どこ（誰）に相談しますか。



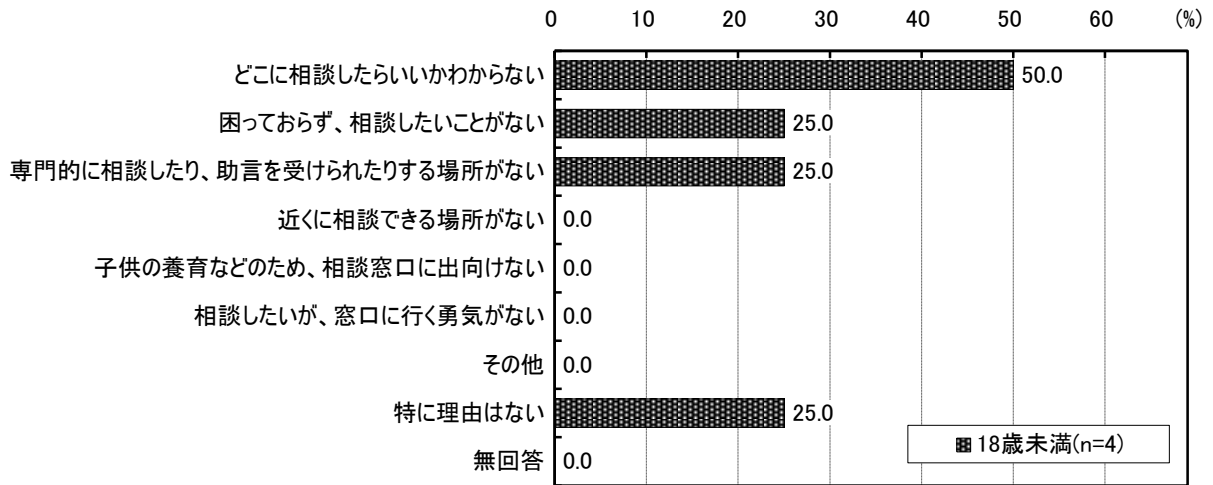
・「家族や親せき」が71.0%と最も多く、次いで「友だち、知人や近所の人」が42.0%、「病院などの医師や看護師」が34.9%、「こども発達支援センター（わかたけ園・杉の子学園・地域支援センター（親子教室を含む））」と「学校」がそれぞれ31.4%、「障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）」が25.4%の順となっています。

\*\*\*\*\* 吹田市 新たな障がい（障がい児）福祉計画の策定に向けたアンケート調査 \*\*\*\*\*

単位：%	全体 (n=169)	就学前 (n=43)	小学生 (n=83)	中高生他 (n=43)	身体障がい (n=25)	知的障がい (n=67)	精神障がい (n=16)	難病 (n=17)	発達障がい (n=129)	手帳不所持 (n=87)
家族や親せき	71.0	76.7	74.7	58.1	72.0	70.1	56.3	64.7	72.9	75.9
友だち、知人や近所の人	42.0	46.5	42.2	37.2	44.0	50.7	31.3	29.4	41.9	39.1
保健所・保健センター	7.1	<b>18.6</b>	3.6	2.3	8.0	6.0	6.3	11.8	7.8	8.0
こども発達支援センター（わかたけ園・杉の子学園・地域支援センター（親子教室を含む））	31.4	<b>44.2</b>	28.9	23.3	36.0	31.3	37.5	23.5	35.7	31.0
地域子育て支援センター	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.1
こども園・保育所（園）・幼稚園	9.5	<b>32.6</b>	2.4	0.0	4.0	3.0	0.0	5.9	9.3	14.9
学校	31.4	2.3	39.8	<b>44.2</b>	12.0	37.3	31.3	17.6	31.8	27.6
教育委員会・教育センター	3.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	5.7
市役所の窓口	4.1	4.7	3.6	4.7	<b>16.0</b>	7.5	12.5	11.8	1.6	1.1
子ども家庭センター	1.2	0.0	2.4	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	1.6	0.0
病院などの医師や看護師	34.9	32.6	32.5	41.9	<b>52.0</b>	40.3	<b>62.5</b>	<b>58.8</b>	33.3	26.4
指定障がい児相談支援事業所	9.5	18.6	6.0	7.0	16.0	9.0	18.8	0.0	8.5	6.9
障がい者相談支援センター	3.6	0.0	6.0	2.3	8.0	4.5	6.3	11.8	3.1	2.3
社会福祉協議会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障がい福祉サービス事業所等の職員（支援員やヘルパー）	25.4	25.6	24.1	27.9	20.0	34.3	25.0	23.5	25.6	20.7
障がい福祉団体やサークル	1.2	0.0	1.2	2.3	0.0	1.5	0.0	0.0	0.8	1.1
発達障がい児者の子育て経験のある人（ペアレントメンター）	9.5	9.3	6.0	16.3	12.0	10.4	<b>25.0</b>	11.8	9.3	5.7
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どこ（誰）にも相談しない	2.4	0.0	3.6	2.3	0.0	1.5	0.0	0.0	2.3	3.4
その他	10.1	7.0	12.0	9.3	8.0	6.0	18.8	<b>23.5</b>	8.5	11.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

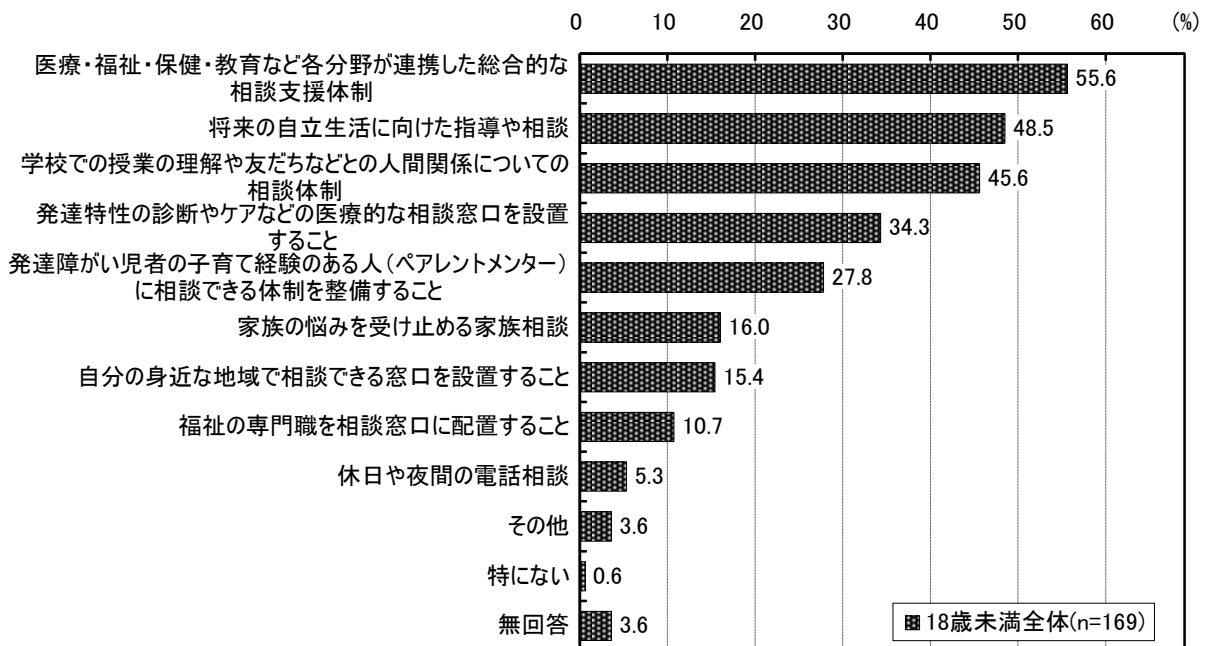
※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

◆（「19 どこ（誰）にも相談しない」と回答した人）相談したことがない理由は何ですか。



・「どこに相談したらいいかわからない」が50.0%、次いで「困っておらず、相談したいことがない」、「専門的に相談したり、助言を受けられたりする場所がない」がそれぞれ25.0%となっています。

◆あなたが、相談支援体制について、希望することは何ですか。



・「医療・福祉・保健・教育など各分野が連携した総合的な相談支援体制」が55.6%、次いで「将来の自立生活に向けた指導や相談」が48.5%、「学校での授業の理解や友だちなどとの人間関係についての相談体制」が45.6%、「発達特性の診断やケアなどの医療的な相談窓口を設置すること」34.3%となっています。

\*\*\*\*\* 吹田市 新たな障がい（障がい児）福祉計画の策定に向けたアンケート調査 \*\*\*\*\*

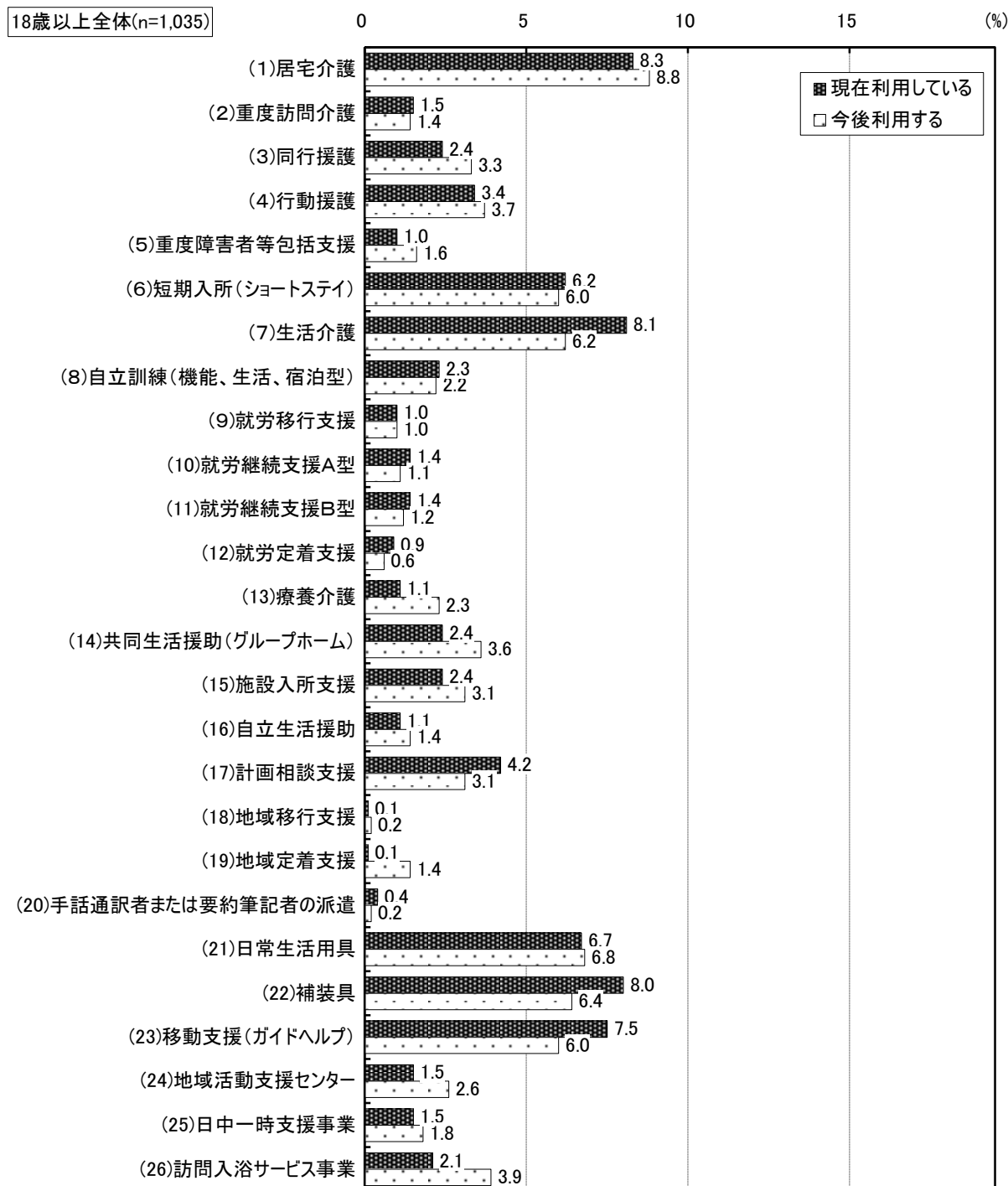
単位：%	全体 (n=169)	就学前 (n=43)	小学生 (n=83)	中高生他 (n=43)	身体障がい (n=25)	知的障がい (n=67)	精神障がい (n=16)	難病 (n=17)	発達障がい (n=129)	手帳不所持 (n=87)
医療・福祉・保健・教育など 各分野が連携した総合的な相 談支援体制	55.6	<b>69.8</b>	45.8	60.5	<b>84.0</b>	<b>67.2</b>	56.3	<b>82.4</b>	49.6	42.5
発達特性の診断やケア などの医療的な相談窓 口を設置すること	34.3	44.2	31.3	30.2	12.0	20.9	31.3	11.8	40.3	<b>44.8</b>
学校での授業の理解や友だち などとの人間関係についての 相談体制	45.6	41.9	51.8	37.2	20.0	28.4	50.0	17.6	53.5	<b>60.9</b>
将来の自立生活に向 けた指導や相談	48.5	37.2	44.6	<b>67.4</b>	56.0	<b>65.7</b>	<b>62.5</b>	52.9	49.6	35.6
家族の悩みを受け止 める家族相談	16.0	14.0	18.1	14.0	8.0	14.9	25.0	5.9	17.1	17.2
発達障がい児者の子育て経験 のある人（ペアレントメンタ ー）に相談できる体制を整備 すること	27.8	23.3	34.9	18.6	20.0	23.9	31.3	11.8	32.6	31.0
福祉の専門職を相談 窓口に配置すること	10.7	7.0	8.4	18.6	4.0	13.4	6.3	11.8	8.5	9.2
自分の身近な地域で相談で きる窓口を設置すること	15.4	11.6	14.5	20.9	<b>28.0</b>	17.9	18.8	<b>29.4</b>	14.0	10.3
休日や夜間の電話相 談	5.3	2.3	7.2	4.7	4.0	6.0	12.5	0.0	5.4	5.7
その他	3.6	0.0	4.8	4.7	0.0	1.5	12.5	0.0	4.7	4.6
特にない	0.6	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.1
無回答	3.6	2.3	6.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	3.9	5.7

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

## 9 福祉サービスの利用状況と今後の意向

◆下記の障がい福祉サービス等について、①から③にお答えください。

### 18歳以上：現在の利用状況と今後の利用



- ・ 現在利用しているサービスは多い順に、居宅介護（8.3%）、生活介護（8.1%）、補装具（8.0%）、移動支援（7.5%）などとなっています。
- ・ 今後利用するサービスについては、居宅介護（8.8%）、日常生活用具（6.8%）、補装具（6.4%）、生活介護（6.2%）の順となっています。

**18歳以上：②利用していて気になるところ**

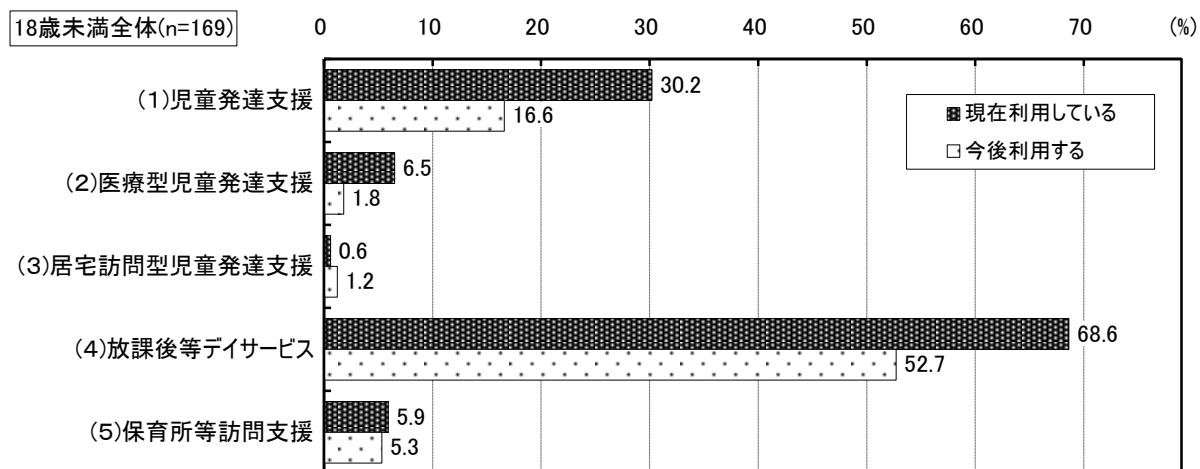
単位：%	n	自分の障がいに対応したサービスがない	利用したい日や時間に利用できない	サービスの量（時間や日数）が足りない	利用するための費用が高い	事業所の設備が配慮されていない	利用したいサービスに空きがない	障がい支援区分の認定や手続きが面倒である	近くで利用できるサービスがない	サービス内容に関する情報が少ない	支援者の知識・経験が不足している	利用の仕方がわからない
居宅介護	86	5.8	11.6	11.6	10.5	2.3	4.7	4.7	2.3	1.2	2.3	1.2
重度訪問介護	16	0.0	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	25	4.0	20.0	12.0	0.0	4.0	16.0	4.0	12.0	4.0	0.0	0.0
行動援護	35	5.7	8.6	5.7	5.7	2.9	11.4	2.9	5.7	2.9	2.9	0.0
重度障害者等包括支援	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	64	98.4	15.6	6.3	9.4	3.1	12.5	0.0	3.1	3.1	1.6	1.6
生活介護	84	3.6	2.4	6.0	3.6	3.6	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	0.0
自立訓練	24	0.0	8.3	12.5	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2	8.3	0.0
就労移行支援	10	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0
就労継続支援A型	15	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7
就労継続支援B型	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0
就労定着支援	9	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
療養介護	11	9.1	0.0	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0
共同生活援助	25	4.0	0.0	0.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
施設入所支援	25	0.0	0.0	4.0	12.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0	0.0
自立生活援助	11	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1
計画相談支援	43	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0
地域移行支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域定着支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手話通訳者または要約筆記者の派遣	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活用具	69	2.9	0.0	1.4	14.5	0.0	0.0	7.2	2.9	10.1	2.9	2.9
補装具	83	2.4	1.2	3.6	12.0	0.0	0.0	7.2	3.6	6.0	1.2	0.0
移動支援	78	2.6	15.4	9.0	6.4	0.0	5.1	1.3	1.3	2.6	1.3	0.0
地域活動支援センター	16	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	0.0
日中一時支援事業	16	6.3	12.5	12.5	6.3	6.3	12.5	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0
訪問入浴サービス事業	22	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0

※無回答の割合は表記を割愛しています。サンプル数20件に満たないものは参考値です。



### 18歳未満：現在の利用状況と今後の利用

（障害者総合支援法に基づくサービスを含む選択肢のうち、児童福祉法に基づく障がい児通所サービスについての回答のグラフ）



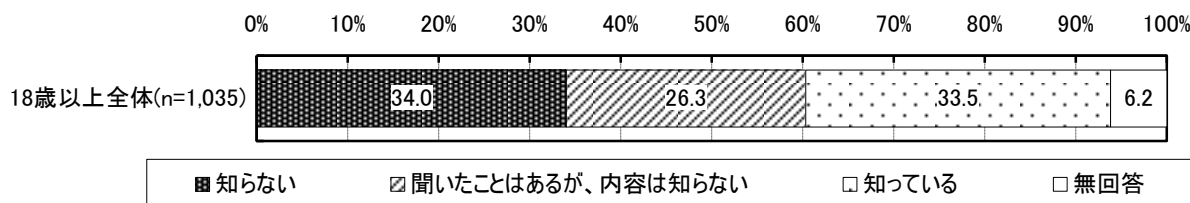
- ・ 現在利用しているサービスは多い順に、放課後等デイサービス（68.6%）、児童発達支援（30.2%）となっています。
- ・ 今後利用するサービスについても、放課後等デイサービス（52.7%）、児童発達支援（16.6%）の順となっています。

**18歳未満：②利用していて気になるところ**

単位：%	n	子供の発達状況や障がい特性に対応したサービスがない	利用したい日や時間に利用できない	サービスの量（時間や日数）が足りない	利用するための費用が高い	事業所の設備が配慮されていない	利用したいサービスに空きがない	利用するための手続きが面倒である	近くで利用できるサービスがない	サービス内容に関する情報が少ない	支援者の知識・経験が不足している
児童発達支援	51	13.7	21.6	21.6	0.0	3.9	27.5	11.8	11.8	15.7	11.8
医療型児童発達支援	11	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1
居宅訪問型児童発達支援	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	116	17.2	23.3	15.5	7.8	8.6	18.1	10.3	11.2	10.3	11.2
保育所等訪問支援	10	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0
居宅介護	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重度訪問介護	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行動援護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	10	0.0	40.0	0.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0
計画相談支援	40	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5	10.0	10.0
日常生活用具	11	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	18.2	9.1	18.2	18.2
補装具	13	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	15.4	15.4
移動支援	15	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
日中一時支援	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

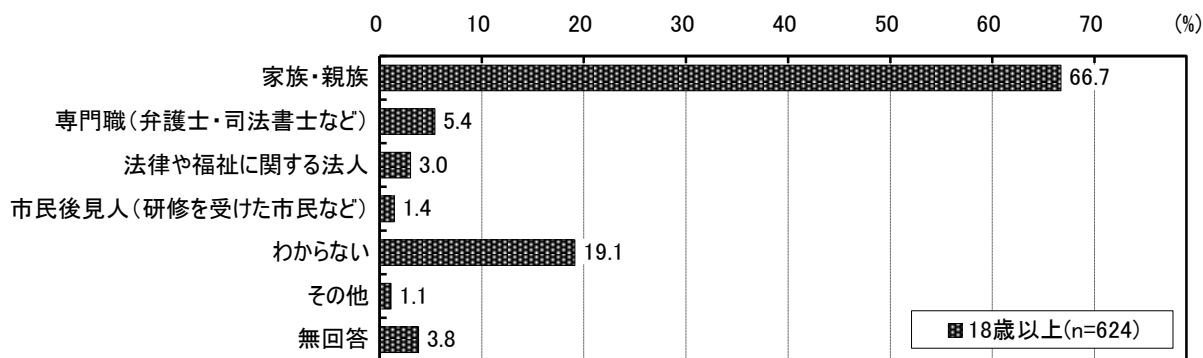
※無回答の割合は表記を割愛しています。サンプル数20件に満たないものは参考値です。

◆あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。



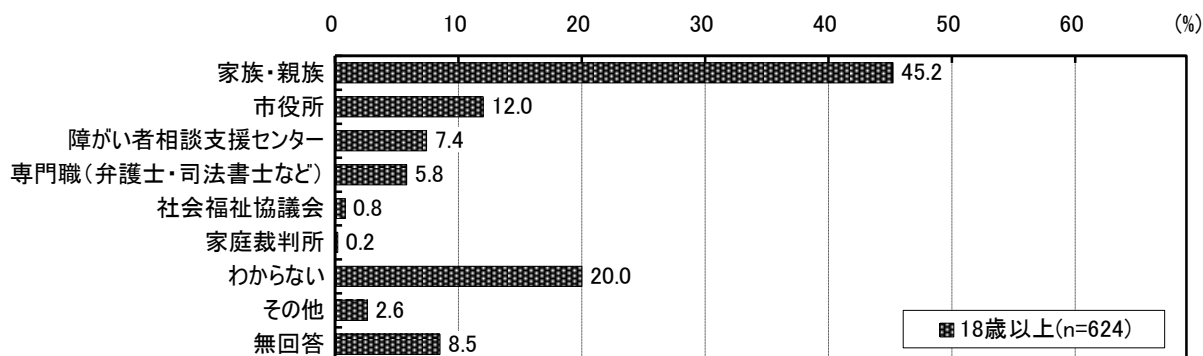
・成年後見制度を「知らない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と答えた人は60.3%を占めています。

◆（「1 知らない」または「2 聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した人）援助者（後見人）には、誰になってもらいたいですか。



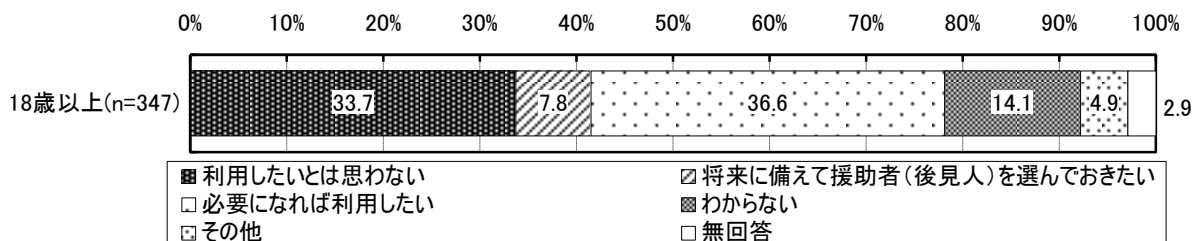
・「家族・親族」が66.7%と最も多く、次いで「専門職（弁護士・司法書士など）」が5.4%、「法律や福祉に関する法人」が3.0%、「市民後見人（研修を受けた市民など）」が1.4%となっています。

◆（「1 知らない」または「2 聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した人）成年後見制度について、誰に（どこに）相談しようと思いますか。



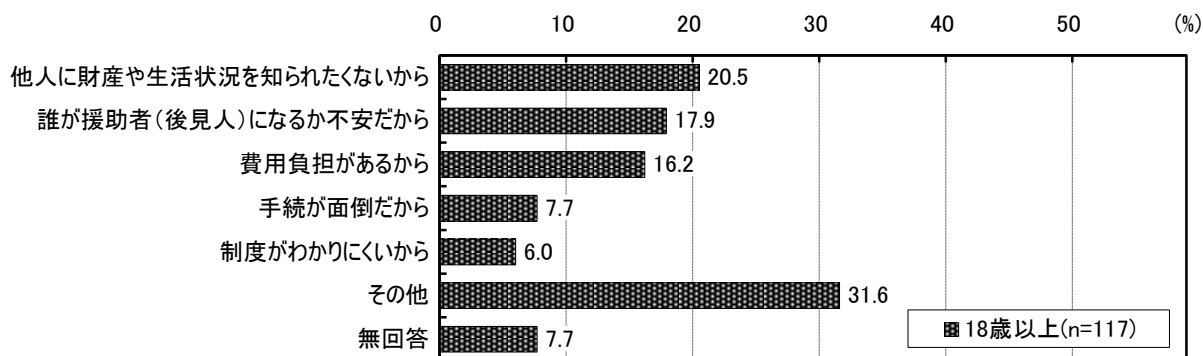
・「家族・親族」が45.2%と最も多く、次いで「市役所」が12.0%、「障がい者相談支援センター」が7.4%、「専門職（弁護士・司法書士など）」が5.8%となっています。

◆（「3 知っている」と回答した人）あなたは、支援が必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。



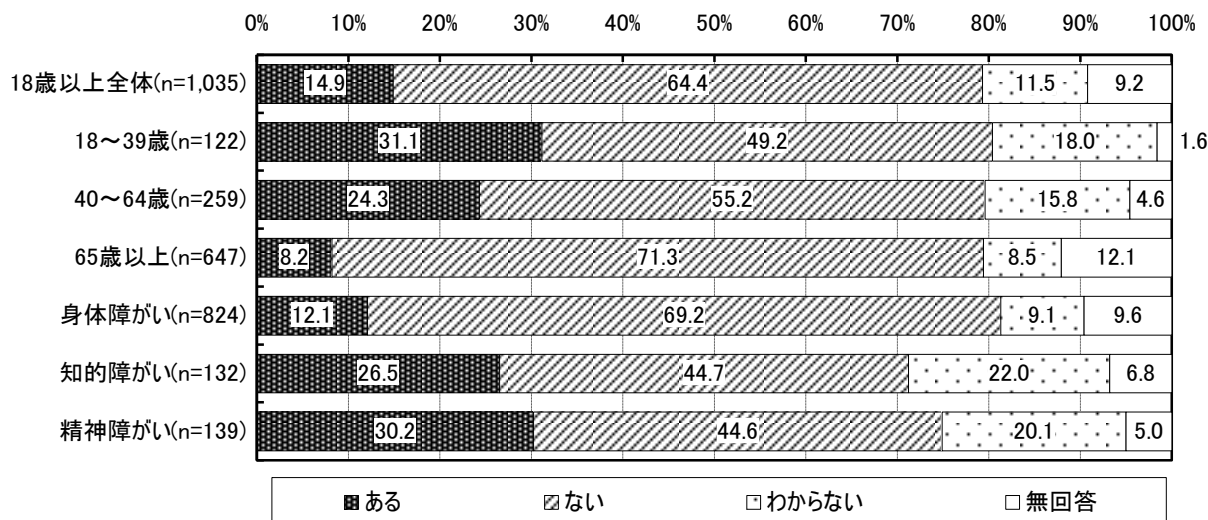
・「必要になれば利用したい」が36.6%、「利用したいとは思わない」が33.7%となっています。

◆（「1 利用したいとは思わない」と回答した人）利用したいと思わない理由は何ですか。



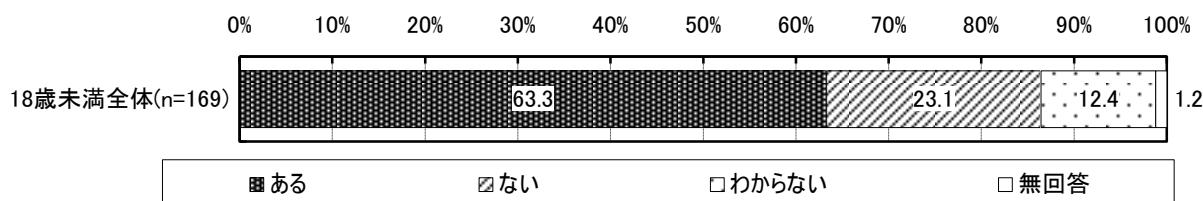
・「他人に財産や生活状況を知られたくないから」が20.5%、次いで「誰が援助者（後見人）になるか不安だから」が17.9%、「費用負担があるから」が16.2%などとなっています。

◆最近3年以内に、障がいがあることで差別を受けたり、偏見を感じたことはありますか。



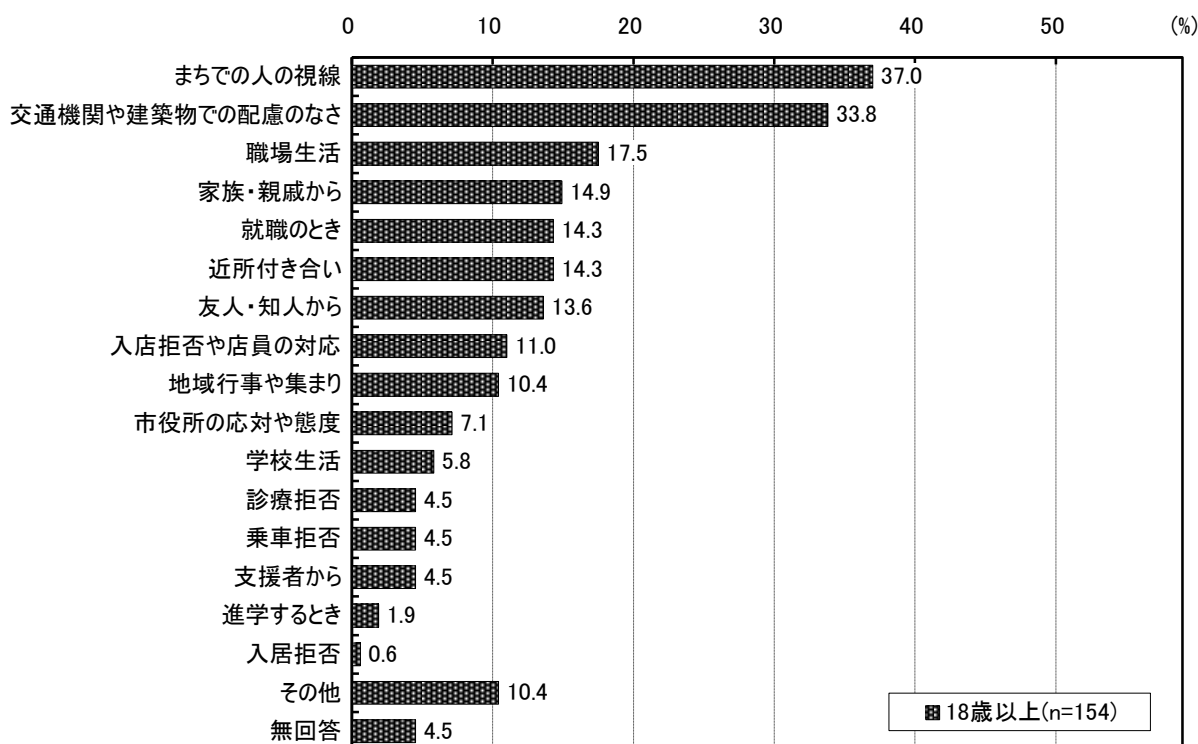
・差別を受けたり、偏見を感じた経験がある人は14.9%となっていますが、年齢別には18～39歳で31.1%、40～64歳で24.3%、障がい種別ごとには精神障がいで30.2%、知的障がいで26.5%となっています。

◆ここ3年間で、お子さん（ご本人）に障がいや発達に特性があることで、嫌な思いをしたことがありますか。



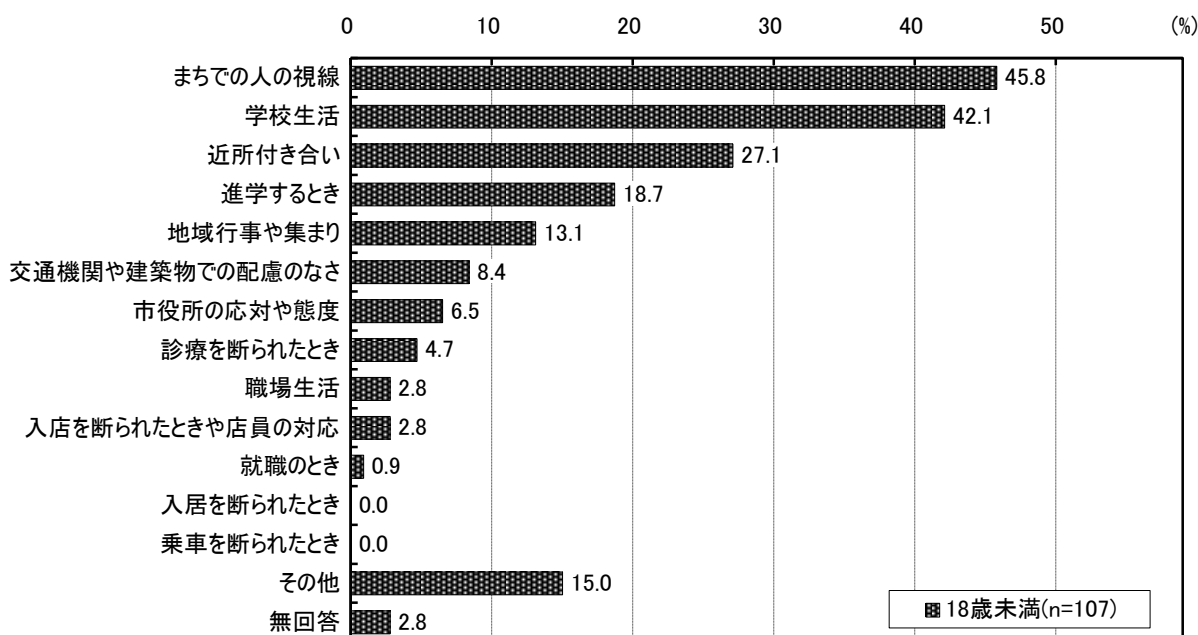
・嫌な思いをしたことがあると答えた人は63.3%となっています。

◆（「1 ある」と回答した人）どのような時に差別を受けたり、偏見を感じましたか。



・「まちでの人の視線」が37.0%、次いで「交通機関や建築物での配慮のなさ」が33.8%、「職場生活」が17.5%、「家族・親戚から」が14.9%、「就職のとき」と「近所付き合い」がそれぞれ14.3%、「友人・知人から」が13.6%などとなっています。

◆（「1 ある」と回答した人）嫌な思いをしたのは、どのようなときですか。



・「まちでの人の視線」が45.8%、次いで「学校生活」が42.1%、「近所付き合い」が27.1%、「進学するとき」が18.7%、「地域行事や集まり」が13.1%などとなっています。

単位：%	全体 (n=154)	18～39歳 (n=38)	40～64歳 (n=63)	65歳以上 (n=53)	身体障がい (n=100)	知的障がい (n=35)	精神障がい (n=42)	難病 (n=11)	発達障がい (n=20)
進学するとき	1.9	2.6	3.2	0.0	2.0	2.9	0.0	9.1	5.0
学校生活	5.8	13.2	6.3	0.0	4.0	5.7	9.5	9.1	<b>20.0</b>
就職のとき	14.3	18.4	19.0	5.7	13.0	2.9	14.3	18.2	10.0
職場生活	17.5	26.3	25.4	1.9	11.0	8.6	<b>31.0</b>	18.2	<b>45.0</b>
近所付き合い	14.3	21.1	14.3	9.4	13.0	22.9	16.7	9.1	<b>30.0</b>
地域行事や集まり	10.4	10.5	9.5	11.3	10.0	8.6	9.5	18.2	15.0
入店拒否や店員の対応	11.0	10.5	14.3	7.5	13.0	11.4	7.1	0.0	5.0
入居拒否	0.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	5.0
診療拒否	4.5	7.9	4.8	1.9	3.0	8.6	4.8	9.1	<b>15.0</b>
乗車拒否	4.5	5.3	1.6	7.5	6.0	5.7	0.0	0.0	0.0
交通機関や建築物での配慮のなさ	33.8	28.9	30.2	41.5	<b>45.0</b>	25.7	11.9	<b>54.5</b>	20.0
まちでの人の視線	37.0	44.7	42.9	24.5	36.0	<b>62.9</b>	28.6	27.3	30.0
市役所の対応や態度	7.1	13.2	7.9	1.9	6.0	8.6	9.5	9.1	10.0
家族・親戚から	14.9	18.4	22.2	3.8	12.0	14.3	<b>28.6</b>	18.2	<b>30.0</b>
友人・知人から	13.6	7.9	17.5	13.2	11.0	2.9	19.0	<b>27.3</b>	15.0
支援者から	4.5	7.9	4.8	1.9	4.0	5.7	7.1	0.0	<b>15.0</b>
その他	10.4	10.5	11.1	9.4	7.0	8.6	19.0	18.2	20.0
無回答	4.5	0.0	3.2	9.4	4.0	5.7	2.4	0.0	0.0

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

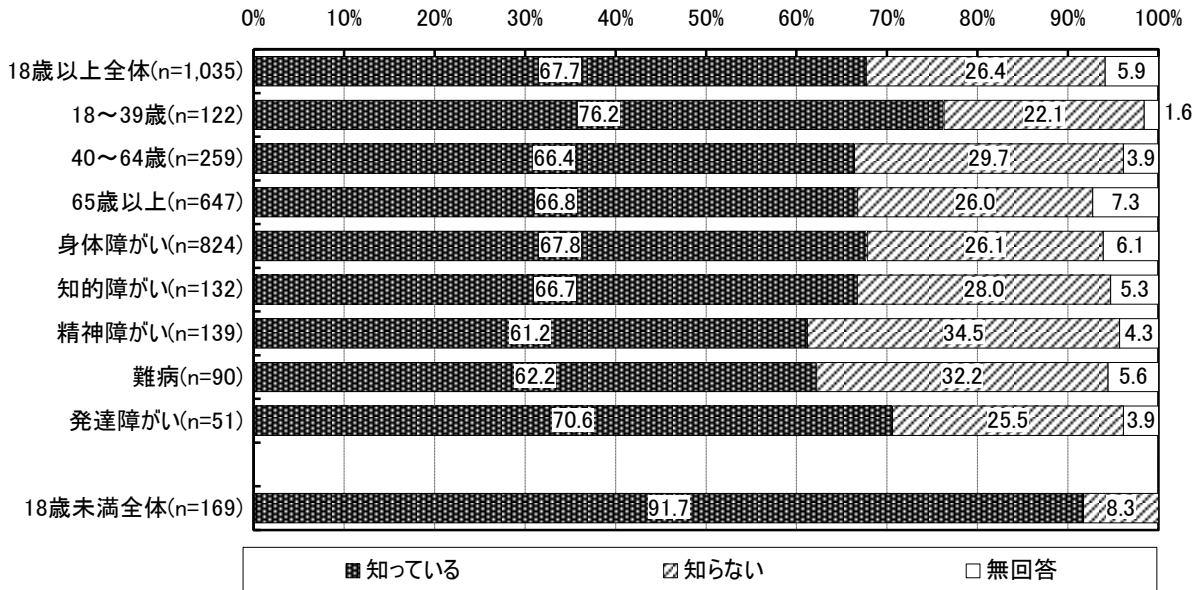
◆ここ3年間で、お子さん（ご本人）に障がいや発達に特性があるために、お子さん（ご本人）やあなたが、あきらめたり、仕方なくがまんしたりしたことがありますか。

単位：%	お子さん（ご本人） (n=169)	就学前 (n=43)	小学生 (n=83)	中学生他 (n=43)	あなた（保護者） (n=169)	就学前 (n=43)	小学生 (n=83)	中学生他 (n=43)
進学	8.3	14.0	3.6	11.6	6.5	9.3	6.0	4.7
就労	0.6	0.0	0.0	2.3	20.7	20.9	21.7	18.6
泊りがけの旅行	8.9	9.3	8.4	9.3	17.8	25.6	16.9	11.6
ひとりでの外出	16.0	2.3	22.9	16.3	23.7	27.9	21.7	23.3
友だちとのつきあい	24.3	14.0	28.9	25.6	31.4	32.6	34.9	23.3
スポーツ、文化活動	16.6	11.6	13.3	<b>27.9</b>	16.0	14.0	16.9	16.3
その他	4.7	7.0	4.8	2.3	4.1	7.0	4.8	0.0
特になし	23.1	25.6	25.3	16.3	26.0	14.0	26.5	<b>37.2</b>
わからない	11.8	14.0	8.4	16.3	2.4	4.7	1.2	2.3
無回答	21.3	<b>32.6</b>	19.3	14.0	17.2	16.3	16.9	18.6

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

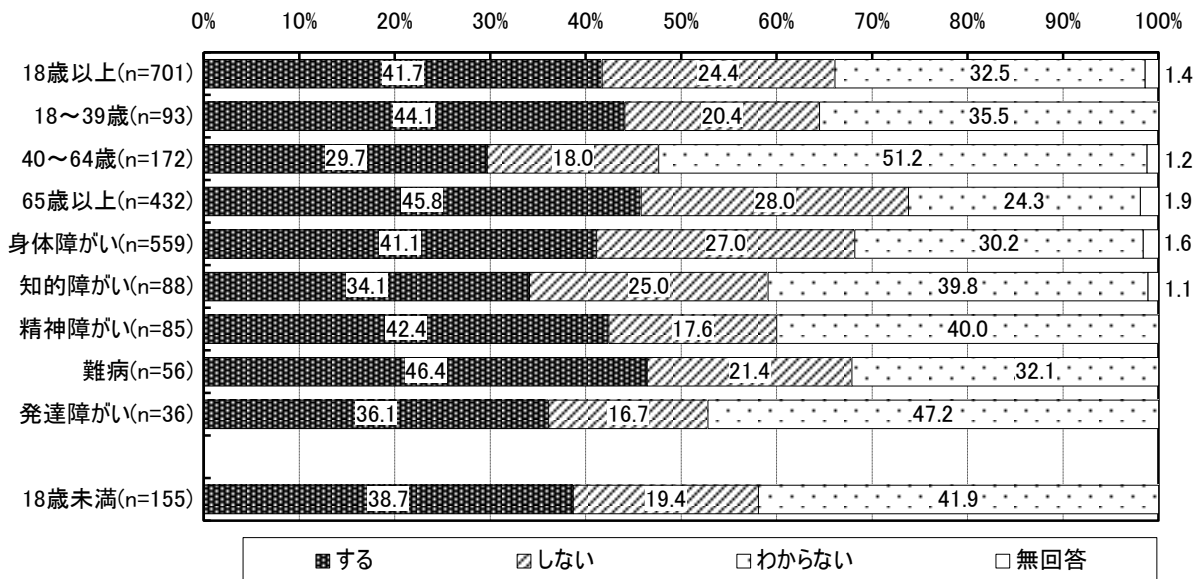
## 10 災害など緊急時の対応

### ◆あなたは、地震などの災害時の、最寄りの避難所を知っていますか。



- ・避難所を「知っている」人は18歳以上の67.7%、18歳未満の91.7%となっています。
- ・18歳以上の障がいの種類別にみると、精神障がいのある人の34.5%、難病のある人の32.2%が「知らない」と答えています。

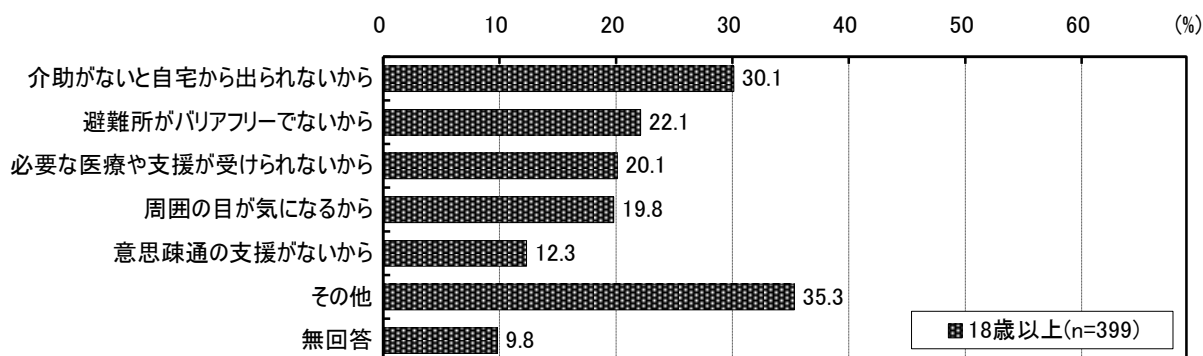
### ◆（「1 知っている」と回答した人）災害が発生した時、あなたは避難所に避難しますか。



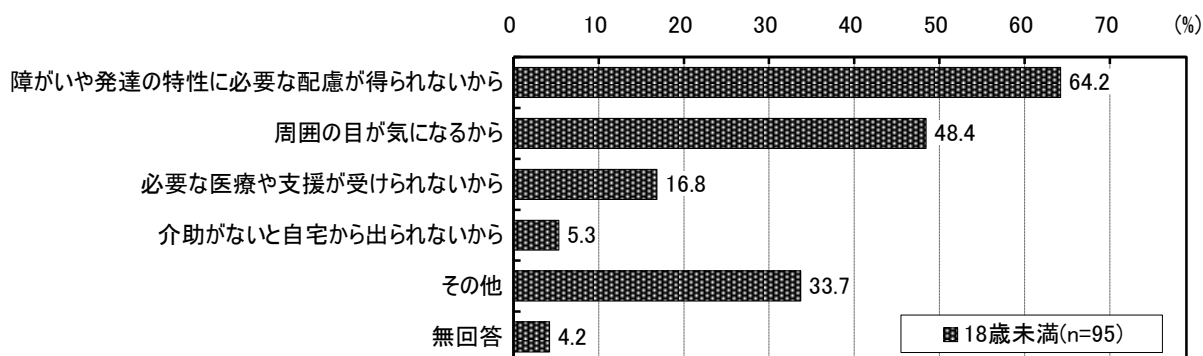
- ・避難する人は18歳以上の41.7%、18歳未満の38.7%となっています。
- ・18歳以上の年齢別にみると、40～64歳では29.7%、障がいの種類別では、知的障がいのある人では34.1%と答えています。



◆（「2 しない」または「3 わからない」と回答した人）避難所に避難しない理由は何ですか。

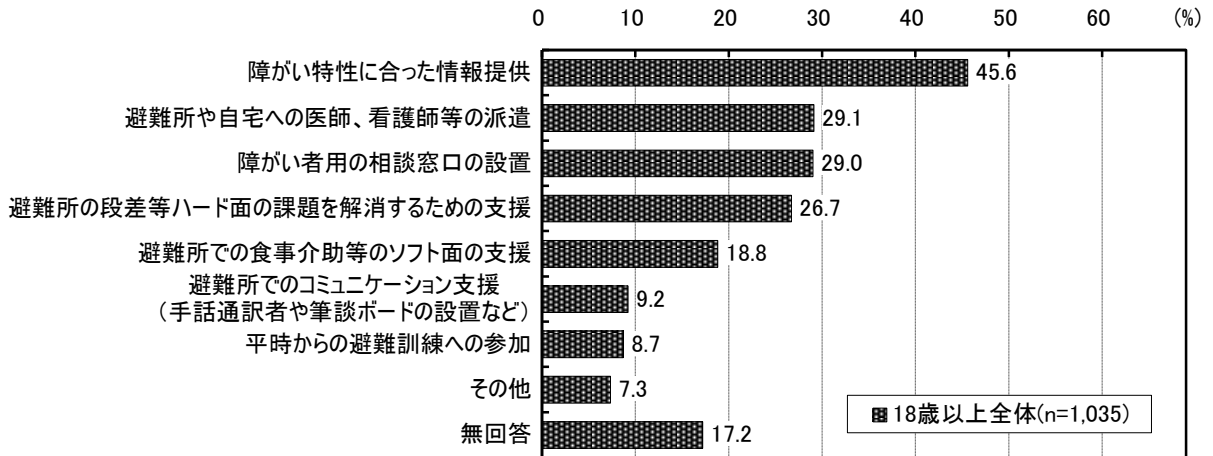


・「介助がないと自宅から出られないから」が30.1%、次いで「避難所がバリアフリーでないから」が22.1%、「必要な医療や支援が受けられないから」が20.1%、「周囲の目が気になるから」が19.8%、「意思疎通の支援がないから」が12.3%となっています。

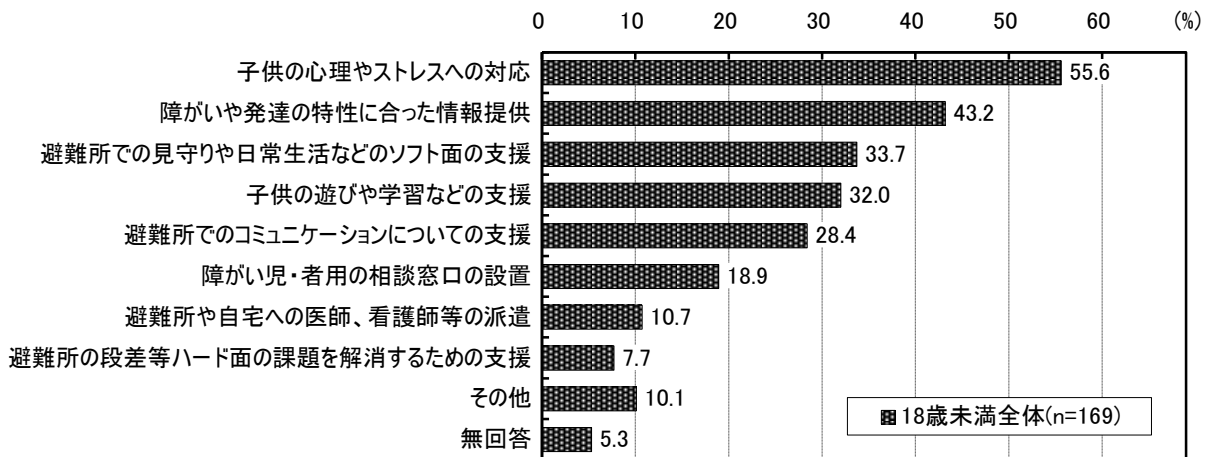


・「障がいや発達の特性に必要な配慮が得られないから」の64.2%が最も多く、次いで「周囲の目が気になるから」が48.4%、「必要な医療や支援が受けられないから」が16.8%、「介助がないと自宅から出られないから」が5.3%となっています。

◆地震などの災害時に、障がい者への支援に必要なことは何ですか。



・「障がい特性に合った情報提供」が45.6%と最も多く、次いで「避難所や自宅への医師、看護師等の派遣」が29.1%、「障がい者用の相談窓口の設置」が29.0%、「避難所の段差等ハード面の課題を解消するための支援」が26.7%、「避難所での食事介助等のソフト面の支援」が18.8%の順となっています。



・「子供の心理やストレスへの対応」が55.6%と最も多く、次いで「障がいや発達の特徴に合った情報提供」が43.2%、「避難所での見守りや日常生活などのソフト面の支援」が33.7%、「子供の遊びや学習などの支援」が32.0%、「避難所でのコミュニケーションについての支援」が28.4%の順となっています。

\*\*\*\*\* 吹田市 新たな障がい（障がい児）福祉計画の策定に向けたアンケート調査 \*\*\*\*\*

単位：%	全体 (n=1,035)	18～39歳 (n=122)	40～64歳 (n=259)	65歳以上 (n=647)	身体障がい (n=824)	知的障がい (n=132)	精神障がい (n=139)	難病 (n=90)	発達障がい (n=51)
障がい特性に合った情報提供	45.6	<b>67.2</b>	50.2	40.0	42.4	<b>57.6</b>	<b>56.1</b>	47.8	<b>66.7</b>
避難所でのコミュニケーション支援（手話通訳者や筆談ボードの設置など）	9.2	18.0	10.4	7.1	9.0	18.2	7.2	4.4	<b>19.6</b>
避難所での食事介助等のソフト面の支援	18.8	13.9	19.3	19.3	19.7	<b>29.5</b>	15.8	14.4	9.8
避難所の段差等ハード面の課題を解消するための支援	26.7	15.6	27.4	28.6	31.3	18.2	7.9	27.8	5.9
避難所や自宅への医師、看護師等の派遣	29.1	28.7	29.7	28.9	28.9	26.5	36.7	33.3	31.4
障がい者用の相談窓口の設置	29.0	<b>45.9</b>	33.6	24.0	26.8	38.6	37.4	26.7	<b>54.9</b>
平時からの避難訓練への参加	8.7	7.4	8.5	9.1	9.0	8.3	5.0	6.7	3.9
その他	7.3	13.1	7.7	6.2	6.2	12.1	10.1	11.1	9.8
無回答	17.2	8.2	12.4	20.4	17.5	15.2	13.7	17.8	13.7

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

単位：%	全体 (n=169)	就学前 (n=43)	小学生 (n=83)	中高生他 (n=43)	身体障がい (n=25)	知的障がい (n=67)	精神障がい (n=16)	難病 (n=17)	発達障がい (n=129)	手帳不所持 (n=87)
障がいや発達の特性に合った情報提供	43.2	44.2	34.9	<b>58.1</b>	<b>56.0</b>	<b>55.2</b>	37.5	52.9	43.4	33.3
避難所でのコミュニケーションについての支援	28.4	23.3	32.5	25.6	12.0	25.4	37.5	11.8	31.8	29.9
避難所での見守りや日常生活などのソフト面の支援	33.7	<b>44.2</b>	28.9	32.6	36.0	<b>44.8</b>	18.8	<b>52.9</b>	33.3	27.6
避難所の段差等ハード面の課題を解消するための支援	7.7	9.3	4.8	11.6	<b>32.0</b>	<b>17.9</b>	6.3	<b>29.4</b>	3.9	1.1
避難所や自宅への医師、看護師等の派遣	10.7	16.3	4.8	16.3	<b>48.0</b>	17.9	<b>31.3</b>	<b>35.3</b>	6.2	2.3
子供の遊びや学習などの支援	32.0	32.6	<b>42.2</b>	11.6	8.0	19.4	31.3	11.8	38.8	<b>42.5</b>
子供の心理やストレスへの対応	55.6	55.8	62.7	41.9	20.0	43.3	62.5	11.8	60.5	65.5
障がい児・者用の相談窓口の設置	18.9	14.0	19.3	23.3	<b>32.0</b>	<b>32.8</b>	25.0	<b>47.1</b>	15.5	8.0
その他	10.1	11.6	10.8	7.0	20.0	10.4	12.5	11.8	10.1	9.2
無回答	5.3	7.0	3.6	7.0	4.0	3.0	6.3	0.0	6.2	6.9

※網かけ太字は全体構成比より10ポイント以上高いもの

